01999-B2327

スマートフォン連携
メモリーナビゲーションシステム

取扱説明書

ご使用の前によくお読みください

このたびはスマートフォン連携メモリーナビゲーションシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

スマートフォン連携メモリーナビゲーションシステムをお使いいただく前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書について

・本書は、主に基本的な操作やオーディオなどの操作について説明しています。ナビゲーションの操作については、本書とあわせてナビゲーション操作ガイドをお読みください。また、車両本体の取扱説明書もあわせてお読みください。

・ダイハツ販売会社で取りつけられた装備（販売会社装着オプション）の取り扱いについては添付されている取扱説明書をご覧ください。

・お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
・ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
・本書の画面の色は印刷インクの関係で、実際の画面の色とは異なることがあります。
・仕様変更などにより、本書の内容とスマートフォン連携メモリーナビゲーションシステムが一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 本書に記載されているマークの意味

⚠ 警告

記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車内火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

記載事項を守らないと、傷害、車両の故障や破損につながるおそれがあります。

お願い

「警告」や「注意」には該当しないが、金銭や時間を大きく損なう危険性があることについて説明しています。

準備

操作をするために、あらかじめ行わなければならないことを説明しています。

お知らせ

操作を行ううえでの制限事項などを説明しています。

MEMO

本機を使いこなすための補足事項を説明しています。

■ ハードボタンとタッチキーについて

本体に付いているハードボタンを操作するときは、本書では以下の例のように枠囲みで表記しています。

例：MENU

また本機は、画面を指先で触れるだけで操作ができるタッチパネル形式を採用しています。画面上のキーをタッチして操作をするときは、本書では以下の例のようにグレーのキーで表記しています。

例：Radio

目次

安全にお使いいただくために

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を下記の表示で記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは重要ですので、必ずお読みください。

警告	記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車内火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
注意	記載事項を守らないと、傷害、車両の故障や破損につながるおそれがあります。

⚠ 警告

本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない

本製品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また実際の情報と異なる場合があり、そのため予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

走行中、運転者は本機の注視や操作をしない

道路状況への注意が散漫になり、交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから行ってください。
なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

実際の交通規制にしたがう

ナビゲーションの画面に表示された地図、一方通行標識、交通規制標識・標示等、またはルート案内（推奨ルートや音声案内）などの情報は、実際の道路状況と異なる場合があります。必ず実際の道路標識、交通状況にしたがって走行してください。交通事故の原因となります。

分解や改造をしない

コードの被覆を切って他の機器の電源を取ったり、ケースを開けて注油したりしないでください。事故、火災、感電、故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異常な音がする、変なにおいがするなどの場合は、ただちに使用を中止してください。火災、感電の原因となります。

ベンジン、シンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどを使用しない

車内で使用すると可燃性ガスが引火するなど、火災の原因となります。
また、それらを使用して本機をお手入れすると変質したり、塗装がはがれるなどの原因になります。

microSDメモリーカードは 乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

本機を車載以外の用途に使用しない

けがや感電の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

操作パネルの上に物を置いたり、強い衝撃を与えない

操作パネルや液晶表示部が故障や破損・変形する原因となります。

- 上に物を置かない
- 手で強く押さない
- ボールペンの先端、ピン、爪の先など、硬いものでこすったり、たたいたりしない
- 水滴やジュースなどの飲みものをかけない

エンジン停車中に長時間使用しない

バッテリー上がりの原因になります。

お願いとお知らせ

■ microSDカードの出し入れについて

- microSDカードの出し入れは、microSDカードが破損するおそれがあるため、本機の電源をOFFにしてから行ってください。

■ 液晶表示について

- 画面の中に小さな黒点、輝点が現われる場合がありますが、これは液晶モニター特有の現象で、故障ではありません。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。液晶パネルが汚れた場合は、「本体のお手入れ」をお読みください。→ P.49

■ 使用環境について

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください。
- 本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中やエンジンスイッチをOFFにした直後の取り扱いは、十分に注意してください。
- キーフリーシステム、またはキーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーを本機に近づけると、本機が動作しなくなる場合があります。また、キーを本機やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。

● 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

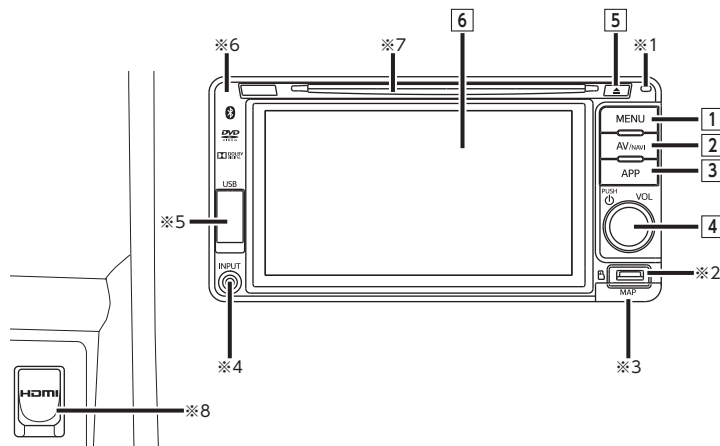
■ ルートについて

● 検索機能から表示される施設の位置をそのまま目的地に設定した場合、施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
● 音声データにより聞き取りにくい名称があります。
● ルート（経路）計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっては、計算できない場合があります。

■ 著作権について

● 本機は許諾契約に基づき弊社が使用許諾を受けた第三者が著作権を所有するソフトウェア及びデータを収録しています。取扱説明書記載内容にて明示的に許諾される場合を除き、本機からのソフトウェア（更新プログラム、データを含む）の取り出し、複製、改変等の行為は法律で固く禁じられています。

各部の名称とはたらき

本機の操作パネルのボタン名称やはたらきについて説明します。

microSDカードの出し入れは、microSDカードが破損するおそれがあるため、本機の電源をOFFにしてから行ってください。

※1 内蔵マイクです。本機がBluetooth 対応携帯電話と無線接続した場合に、ハンズフリー機能用マイクとして使用します。
※2 microSDカード内のデータをお楽しみいただく際に、microSDカードを挿入する場所です。→ P.7
※3 地図microSDカードが格納されています。地図更新を行う際に、フタを開けてカードの抜き差しを行います。
その他の操作時は、フタを開けないでください。
※4 AUX端子です。オーディオのモードをAUXに切り替えると、接続した外部機器の音声や映像を再生できます。→ P.24
※5 USB端子です。USBメモリー、またはiPod内のデータをお楽しみいただく際に接続する場所です。→ P.8
※6 リモコン受光部です。
※7 DVDビデオ、DVD-VR、CD、MP3、WMAディスクを挿入する場所です。→ P.7
※8 HDMI端子です。スマートフォン連携をする際に接続する場所です。→ P.8

本書では、操作パネルの各ボタンを以下のようなイラストで説明しています。

番号	イラスト	操作の説明	
1	MENU	短押し	メインメニュー画面を表示します。
2	AV/NAVI	短押し	現在地地図画面と現在選択中のオーディオ画面を切り替えます。
3	APP	短押し	Smart Accessを起動します。
4	ー	回す	ロータリボリュームキーです。 オーディオ・ビジュアル機能の音量を調整します。
		短押し	画面を非表示にし、音声出力を停止します。
5	⏏	短押し	本機に挿入されているディスクを排出します。
6	ー	タッチ	モニター兼タッチパネルです。画面が表示され、画面をタッチすることでタッチパネルとして機能します。

基本的な使いかた

電源を入れる

1 **エンジンスイッチを「ACC」、または「ON」にする**

本機に電源が入ります。
エンジンスイッチをOFFにすると、本機の電源が切れます。

メニューの使いかた

本機には、すべての機能を使うためのメインメニューのほか、よく使う機能をまとめたショートカットメニューがあります。ショートカットメニューを利用すると、よく使う機能をすばやく呼び出せます。

1 MENU

メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面上をタッチしたままで、上下にすばやくスライドしながら指を離すと、前ページ、次ページに切り替わります。これをフリック操作といいます。画面上をタッチしたまま、指を離さないでゆっくりスライドしても、画面を切り替えられます。

▼/▲：
タッチして次/前のメニュー画面に切り替える。

Smart Access：
Smart Accessモードを表示する。
→ P.30

ワンセグ：
ワンセグテレビモードを表示する。
→ P.9

Radio：
ラジオモードを表示する。
→ P.11

交通情報：
交通情報を表示する。
周波数を選択する場合は 1620kHz、または 1629kHz をタッチします。解除 をタッチすると、交通情報を聞く前に使っていたオーディオに戻ります。

DVD/CD：
DVDモード、CDモードを表示する。
→ P.12、→ P.16

USB / iPod：
USBオーディオモード、iPodオーディオ/iPodビデオモードを表示する。→ P.17、P.19

電話：
電話モードを表示する。→ P.28

SD：
SDオーディオモードを表示する。
→ P.17

BTオーディオ：
Bluetoothオーディオモードを表示する。→ P.23

AUX：
AUXモードを表示する。
→ P.24

ナビゲーション：
ナビゲーションモードを表示する。
→「ナビゲーション操作ガイド」

設定：
各種設定画面を表示する。
→ P.37

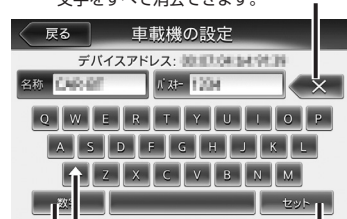
ショートカットメニューを利用する

メインメニュー画面からメニューを選んだあとのトップ画面で > をタッチすると、ショートカットメニューを表示できます。

ショートカットメニューには、よく使う機能を5つまで登録できます。→ P.38

< をタッチすると、元の画面に戻ります。

文字入力のしかた

文字を入力する画面では、キーパッドをタッチすると、アルファベットや数字を入力できます。

リストを操作する

リストの項目が多い場合、複数のページに表示されます。

リストのページを移動する

1 **または**

フリック操作でもリストのページをスクロールできます。

インデックスを使って選ぶ

画面左部にひらがなのキーが表示されている場合は、タッチしたキーやキーの行を先頭文字とする項目をリスト表示できます。ここでは、例として、リストから「た」ではじまる項目を選択する方法を説明します。

1 た

「た」、「ち」、「つ」、「て」、「と」ではじまる項目が表示されます。

2 リストから該当する項目を選択

インデックスがすべて表示されていない場合は、⌃または⌄をタッチするか、フリック操作をしてページを送ってください。

数値を増減する

リストの項目に＋、－が表示されている場合は、数値や音量などを増減できます。

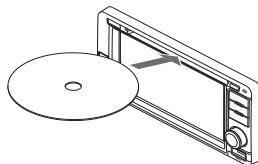
ディスクの出し入れ

CD、MP3・WMAディスク、DVD内のデータをお楽しみいただくには、ディスクを本機にセットします。

お願い

- ディスクは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するか、または取り出してください。
- ディスクの記録面（光沢のある面）には触れないでください。
- ディスクを2枚重ねて挿入しないでください。

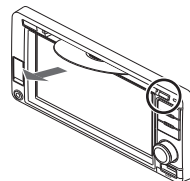
ディスクの入れかた

1 ディスクのレーベル面を上にして、挿入口に差し込む

ディスクが取り込まれます。しばらくすると、ディスクの再生がはじまります。
ある程度差し込むと、ディスクは自動的に取り込まれます。ディスクが取り込まれない場合は、すでにディスクがセットされています。
ディスクを無理やり挿入せず、セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。

MEMO

- ディスクを取り出さないまま、しばらくすると、自動的にディスクが取り込まれます。

ディスクの取り出しかた

1 ⏏

ディスクが排出されます。

2 ディスクを取り出す

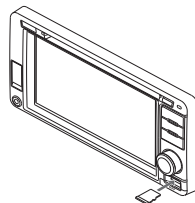
microSDカードの出し入れ

microSDカード内のMP3・WMAデータをお楽しみいただくには、microSDカードを本機にセットします。

お願い

- microSDカードの出し入れは、microSDカードが破損するおそれがあるため、本機の電源をOFFにしてから行ってください。
- microSDカード挿入口下のフタの内部には、地図microSDカードが格納されています。
  地図microSDカードを抜くと、本機は動作しません。地図更新時以外は、抜き差しを行わないでください。
- microSDカードの端子面には触れないでください。

microSDカードの入れかた

1 microSDカードのラベル面を上にして、挿入口に差し込む

microSDカードを奥にしっかりと差し込んでください。

microSDカードの取り出しかた

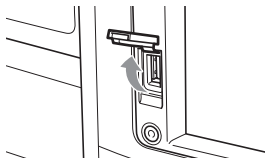
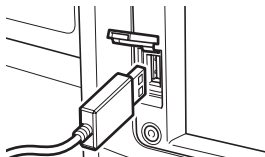
1 **microSDカードをつまんで取り出す**

microSDカードを取り出すときは、指でmicroSDカードをしっかりつまんでください。

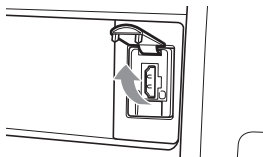
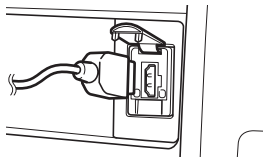
USBメモリーを接続する

— MEMO —

- USBメモリーを本機に直接接続すると突起物となり、運転および、本機の操作の妨げになる場合がありますので、USB延長ケーブル（市販品）を使用することをおすすめします。

1 **カバーを開ける**

2 **USB延長ケーブルを接続する**

3 **USB延長ケーブルにUSBメモリーを接続する**

HDMIを接続する

1 **カバーを開ける**

2 **HDMIを接続する**

オーディオの音量を調整する

1 **ロータリボリュームキーを回す**

— MEMO —

- ナビゲーションの音声案内の音量については､別の操作で調整します。→｢ナビゲーション操作ガイド｣ → P.73

表示画面を切り替える

オーディオ画面と地図画面は以下の手順で切り替えられます。

オーディオ画面に切り替える

1 **地図画面で AV/NAVI**

選択したソースのオーディオ画面が表示されます。

※ 画面はiPodの場合。

地図画面に切り替える

1 **オーディオ画面で AV/NAVI**

地図画面が表示されます。

※ 画面はiPodの場合。

AVコントロールバーを表示する

AVコントロールバーをタッチすると、オーディオ・ビジュアル機能をすばやく呼び出せます。表示内容は、選択中のオーディオ・ビジュアルの種類によって異なります。

1 **AVコントロールバー表示キーをタッチ**

選択中のオーディオ・ビジュアルのAVコントロールバーが表示されます。非表示に戻したいときは、再度AVコントロールバー表示キーをタッチします。

画面を非表示にする

— お知らせ —
• 画面非表示中は、ナビゲーションの音声案内は出力されません。

1 **ロータリボリュームキーを押す**
画面が非表示になります。
再度ロータリボリュームキーを押すと、元の画面が表示されます。
直前にオーディオ画面を表示していた場合は、選択中のソースのオーディオメインメニュー画面が表示されます。

— MEMO —
• 電話を着信、またはカメラ映像起動時は、一時的に画面が表示されます。

テレビを見る

本機では、地上デジタル放送のワンセグテレビをお楽しみいただけます。

⚠ 警告

• **運転者がテレビを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**

— お知らせ —
• 本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。

— MEMO —
• 地上デジタル放送受信中に音量を調整した場合、ほかのソース（ラジオ、iPodビデオなどの音源・映像源）に切り替えて音量を変えても、次回地上デジタル放送を受信したときに元の音量で見られます。
• 地上デジタル放送受信時に（主に弱電界）画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

はじめて使うときは

はじめて地上デジタル放送を見るときは、受信できる放送局を探して、本機に記憶（オートストア）させます。

1 MENU ▶ ワンセグ
オートストア開始の確認画面が表示されます。

2 はい
いいえ をタッチすると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト（プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。

受信できる放送局を探して、本機に自動登録します。オートストアが終了するまで、しばらくお待ちください。

オートストアが終了すると、テレビ画面に切り替わります。

画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。
何も操作しないまま約8秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。手動でキーを非表示にするには、戻る をタッチします。

— MEMO —
• オートストアはオプション画面からも実行できます。→ P.10

テレビの選局をする

リストから選局する

現在見ている画面から、ほかのチャンネルに切り替えられます。

1 MENU ▶ ワンセグ

2 **画面をタッチ ▶ 放送局を選択**
サブチャンネル、主／副音声、第1／第2音声、受信感度が表示されます。

選択した放送局に切り替わります。
⏮ または ⏭ をタッチして、放送局を切り替えることもできます。

自動で選局する

1 MENU ▶ ワンセグ

2 ⏮ **または** ⏭ **（長押し）**
受信可能な放送局を検出すると、自動的に終了しその放送局を受信します。

テレビのプリセットチャンネルリストを利用する

プリセットチャンネルとは

走行中のエリアで受信可能な放送局を登録（プリセット）できるチャンネルです。何度もチャンネルを合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルリストは、TV1モードとTV2モードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで12局までです。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。

プリセットチャンネルリスト(放送局リスト)

— MEMO —

- プリセットチャンネルに登録される放送局は、メインチャンネルのみです。サブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルを登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「TV1」、「TV2」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。

1 MENU ▶ ワンセグ

2 **画面をタッチ**

3 TV1 **または** TV2

プリセットチャンネルリストの表示が切り替わります。

リストに自動で登録する(オートストア)

オートストアは受信バンドごとに実行できます。

— お知らせ —

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。

1 MENU ▶ ワンセグ

2 **画面をタッチ**

3 TV1 **または** TV2

4 ⚙ ▶ **[オートストア] の** 開始

5 はい

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。オートストア中は、キャンセル をタッチして取り消せます。

— MEMO —

- 受信状態によっては、1分ほど処理時間がかかることがあります。
- オートストアを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。以前に手動で登録したプリセットチャンネルが消去される場合もあります。
- オートストアを途中解除した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わらず、プリセットチャンネルのうち、オートストア前に受信していたチャンネルが選局されます。
- 地域設定で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。→ P.10
- 県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、オートストアしたリスト内の未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 空きプリセットチャンネル数により、オートストアした結果が全部は登録できない場合があります。

リストに手動で登録する

1 MENU ▶ ワンセグ

2 **画面をタッチ**

3 **登録したい放送局を受信**

4 **プリセットチャンネルリスト内の上書きするチャンネルを長押し**

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

メイン／サブチャンネルを選局する

受信中のチャンネルにサブチャンネルが存在する場合、メインチャンネルからサブチャンネルに切り替えられます。サブチャンネルが存在する場合は、プリセットチャンネルリストの上に「SUB」と表示されます。

1 MENU ▶ ワンセグ

2 **画面をタッチ**

3 **サブチャンネルのあるプリセットチャンネルを受信中に** ⏭

サブチャンネルに切り替わります。

地上デジタル放送の設定をする

— お知らせ —

- 走行中は本操作を行えません。

1 MENU ▶ ワンセグ

2 **画面をタッチ**

3

オプション画面が表示されます。

4 **目的の項目を選択**

戻る　オプション	
オートストア	開始
番組案内	表示
音声	第1音声 ▶
主/副	主音声 ▶
優先エリア	東京都 ▶
画質調整	設定

オートストア：
→ P.10

番組案内：
現在受信中の番組と、その次の番組の概要を表示する。

音声：
2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替える。(初期値：第1音声)
受信される番組は、2種類までの音声を持っています。第2音声がないチャンネルは、設定内容にかかわらず第1音声で放送されます。

— お知らせ —

- 音声を切り替える際、いったん映像と音声が途切れます。

主/副：
主音声／副音声がある番組で、音声を切り替える。（初期値：主音声）
副音声の状態でほかのチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。

優先エリア：
優先地域を設定する。
県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されます。（初期値：東京都）

画質調整：
− または + をタッチして画質を調整する。
画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。
設定メニューの 昼／夜切り替え で昼夜を切り替えてから、画質調整をしてください。→ P.39

5 戻る

ラジオを聴く

本機では、AMラジオ/FMラジオを受信してお楽しみいただけます。

ラジオを受信する

AMラジオ/FMラジオを切り替える

1 MENU ▶ Radio
ラジオが受信されます。

2 FM1 、FM2 、AM1 、AM2
タッチしたバンドに切り替わります。

自動で放送局を選ぶ

1 MENU ▶ Radio

2 ◀◀ または ▶▶ **（1.5秒以内の長押し）**
受信可能な放送局を検出すると、自動的にその放送局を受信します。
◀◀ または ▶▶ を1.5秒以上長押しすると、キーをタッチしている間、周波数が連続して切り替わります。指を離すと自動で受信可能な放送局を検出し、受信します。

手動で放送局を選ぶ

1 MENU ▶ Radio

2 ◀◀ または ▶▶
タッチするごとに周波数が切り替わります。
周波数設定エリア上をタッチ、または周波数設定バーをスライドしても周波数を切り替えられます。

周波数設定バー

リストから選局する

登録した放送局を、リストから選局します。

1 MENU ▶ Radio

2 目的の放送局を選択
選択した放送局が受信されます。

ラジオのプリセットチャンネルリストを利用する

プリセットチャンネルとは

走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録（プリセット）できるチャンネルです。何度も周波数を合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルリストは、AM1、AM2、FM1、FM2の4種類があります。登録できる放送局は、それぞれのリストで6局までです。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。

プリセットチャンネルリスト（放送局リスト）

プリセットチャンネル番号、放送局名、周波数が表示されます。

■ リストに「重複」と表示されるときは

同一周波数内で、異なる放送局名が存在するときは、リストに「重複」と表示されます。「重複」と表示されている放送局を受信中に、そのチャンネルリストをタッチすると、放送局名を切り替えられます。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルをAM1、AM2、FM1、FM2にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。

1 MENU ▶ Radio

2 FM1 、FM2 、AM1 、AM2
プリセットチャンネルリストの表示が切り替わります。

リストに自動で登録する（オートストア）

— お知らせ —
- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。

1 MENU ▶ Radio

2 FM1 、FM2 、AM1 、AM2

3 ⚙

4 [オートストア] の 開始 ▶ OK

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。
オートストアを中止するには、キャンセル をタッチします。

— MEMO —
- オートストアを途中で中止した場合、それまでに受信した放送局は登録されません。

リストに手動で登録する

1 MENU ▶ Radio

2 登録したい放送局を受信

3 プリセットチャンネルリスト内の上書きするチャンネルを、音がするまで長押し

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

受信地域を選択する

受信地域を正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。

— お知らせ —
- 走行中は本操作を行えません。

1 MENU ▶ Radio

2 FM1 、FM2 、AM1 、AM2

3 ⚙

4 [地域選択] の設定キー（初期値：関東）

地域選択リストが表示されます。

5 地域を選択

6 閉じる

7 戻る

受信地域が切り替わります。

DVDを見る

DVDを再生する

⚠ 警告

- **運転者がDVDの映像を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**

— お知らせ —
- 本機は安全のため、停車時のみDVDの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。
- 市販のDVD（DVDビデオ）とご家庭で録画されたDVD（DVD-VR）の画面は異なります。

1 DVDをセットする、または MENU ▶ DVD/CD

本機にセットされたDVDが再生されます。
画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。

（DVDビデオの場合）

画面サイズ、再生状態が表示されます。

（DVD-VRの場合）

画面サイズ、再生状態が表示されます。

何も操作しないまま5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。
手動でキーを非表示にするには、戻る をタッチします。

再生を停止する

1 再生中に画面をタッチ ▶ ■

DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）
レジューム停止中に ▷ をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。
レジューム停止中に ■ を短押しすると、再生が完全に停止します。（完全停止）次に再生したときは、ディスクの先頭から再生されます。

一時停止する

— お知らせ —
- DVDビデオの場合、メニュー中に一時停止や再生開始などのキー操作ができない場合があります。そのような場合は、トップメニュー 、または メニュー をタッチして、DVDメニューの操作キーから操作してください。

1 **再生中に画面をタッチ ▶ ⏸**
DVDの映像が表示された状態で、再生が一時停止します。一時停止中に ▶ をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

前/次のチャプターを再生する

1 **⏮ または ⏭**
⏮ をタッチするとチャプターの先頭に戻り、さらに ⏮ をタッチするごとに前のチャプターに移動します。

早戻し/早送りする

1 **再生中に ⏮（早戻し）、または ⏭（早送り）**
⏮、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生をする

1 **再生中に画面をタッチ ▶ ⏸ ▶ ⏭（長押し）**
⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

— MEMO —
- スロー再生中は、オーディオ状態表示エリアに「スロー再生」と表示されます。

リピート再生をする

再生中のチャプターをリピート再生します。

— お知らせ —
- DVD-VRでプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生できません。

1 **MENU ▶ DVD/CD**

2 **画面をタッチ ▶ トリックプレイキーをタッチ**

トリックプレイキー

3 **リピートキー**
OFFキーをタッチすると、通常再生に戻ります。

4 **トリックプレイキーをタッチ**
元の画面に戻ります。

メニューから再生する（DVDビデオ）

DVDビデオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、見たい映像をすばやく再生できます。
表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

1 **MENU ▶ DVD/CD**

2 **画面をタッチ**

3 **トップメニュー または メニュー**

— MEMO —
- 「現在その操作はできません。」と表示された場合は、DVDビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

4 **メニュー項目を直接タッチして選択**
移動：
操作キーを画面の左右に移動する。

5 **操作キーを使用してメニュー項目を選択する場合は ✥**

6 **▲、◀、▶、▼ でメニューを選択 ▶ 決定**
選択したメニュー項目が再生されます。

タイトルリスト/プレイリストから再生する（DVD-VR）

プレイリストとは、DVD映像をお好みのシーンだけに編集し、独自に作成したタイトルです。

1 **MENU ▶ DVD/CD**

2 **画面をタッチ**

3 **再生モード切替キーをタッチして、タイトル名、またはプレイリスト名を表示させる**

再生モード切替キー

再生モード切替キーをタッチするたびに、タイトルリスト表示とプレイリスト表示が切り替わります。

4 **リストキー**

5 **見たいタイトルを選択**
番号指定：
指定した番号のタイトル、またはプレイリストを再生する。

選択した項目が再生されます。

6 **戻る**

静止画の切り替えをする(DVD-VR)

— お知らせ —
- 本機能は、音声の入っていない静止画再生時のみ使用できます。
- チャプター内に静止画が1枚しか収録されていない場合などは、「現在その操作はできません。」というメッセージが表示されます。

1 MENU ▶ DVD/CD
2 画面をタッチ
3 静止画切替
タッチするたびにチャプター内の静止画が切り替わります。
再生中以外のチャプターの静止画は 静止画切替 をタッチしても再生されません。⏮、⏭ をタッチして再生してください。

タイトル・チャプター番号を入力して再生する（DVDビデオ）

1 MENU ▶ DVD/CD
2 画面をタッチ
3 ⚙
4 [10キーダイレクト入力] の 選択する
5 タイトル または チャプター
6 番号を入力
7 決定
入力したタイトル、またはチャプターが再生されます。

DVDの設定をする

音声言語・字幕言語・アングルを切り替える（DVDビデオ）

— お知らせ —
- DVDに字幕、複数の音声、およびアングルが収録されている場合のみ有効です。
- 設定できる言語はディスクによって異なります。

1 MENU ▶ DVD/CD
2 画面をタッチ
3 ⚙
4 [音声・字幕・アングル] の 選択する
5 アングル 、音声言語 、字幕言語
タッチするたびに各項目の設定が切り替わります。
「OFF」で字幕を非表示にできます。

— MEMO —
- 「優先する言語を設定する」で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。→ P.15

6 戻る

字幕表示・音声を切り替える(DVD-VR)

— お知らせ —
- DVDに字幕、複数の音声が収録されている場合のみ有効です。
- 設定できる音声はディスクによって異なります。

1 MENU ▶ DVD/CD
2 画面をタッチ
3 ⚙
4 [音声・字幕] の セット
5 Audio または 字幕
タッチするたびに各項目の設定が切り替わります。
6 戻る

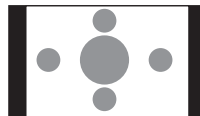
画質を調整する

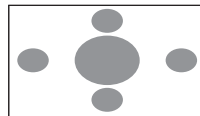
1 MENU ▶ DVD/CD
2 画面をタッチ
3 ⚙
4 [画質調整] の セットアップ
5 調整する項目の − または ＋
画面の映像を見ながら画質を調整します。
6 戻る
調整した画質に設定されます。

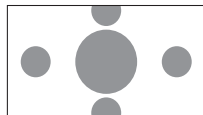
— MEMO —
- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

画面サイズを切り替える

1 MENU ▶ DVD/CD
2 画面をタッチ
3 ⚙
4 [画面設定] の設定キー（初期値：フルワイド）
5 画面サイズを選択

ノーマル：

映像が縦横の比率を変えずに中央に表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：

映像が画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

シネマ：

シネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使います。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

6 閉じる

7 戻る

モニターサイズを設定する（DVDビデオ）

— **お知らせ** —

- 収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」、または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

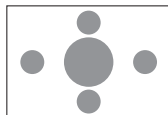
1 MENU ▶ DVD/CD

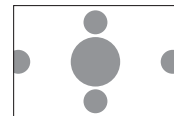
2 **画面をタッチ**

3

4 **[モニタサイズ設定] の設定キー（初期値：ワイド）**

5 **モニターサイズを選択**

ワイド：

映像が画面にぴったり収まります。映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。

パンスキャン：

画面の上下と映像の高さが合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。

レターボックス：

画面の横幅と映像の幅が合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

6 閉じる

7 戻る

優先する言語を設定する（DVDビデオ）

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語のそれぞれについて設定できます。

— **お知らせ** —

- 再生できる言語はディスクによって異なります。
  本設定は、DVD再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

1 MENU ▶ DVD/CD

2 **画面をタッチ**

3

4 **[メニュー言語初期設定]、[オーディオ言語初期設定]、[サブタイトル初期設定] の設定キー（初期値：日本語）**

いずれかのキーをタッチすると、言語のリストが表示され、再生時に優先する言語を選択できます。
各言語は、英語、日本語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語から選択できます。サブタイトル初期設定では「OFF」を選択し、字幕を非表示にできます。

5 **言語を選択**

6 閉じる

7 戻る

パレンタルレベルを設定する（DVDビデオ）

■ パレンタルレベルとは

パレンタルレベルとは、お子様に対しDVDの視聴を制限させるために設定するものです。
DVDビデオには、パレンタルレベルが設定されているものがあります。レベルは1 ～ 8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できない場合があります。
例：DVDの視聴制限がレベル3の場合
本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル3 ～ 8」の場合のみ、再生できます。本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル1 ～ 2」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。
パレンタルレベルの初期値は「OFF」で、すべてのDVDビデオに対して視聴制限のない状態になっています。

— **お知らせ** —

- パレンタルレベルの設定には、パスワードが必要です。また、パレンタルレベルは国によって異なるため、カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。→ P.49
- パレンタルレベルは、DVDのパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルが記載されていないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴制限をかけない場合は、本設定は必要ありません。

■ パスワードを設定・変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。

1 MENU ▶ DVD/CD

2 画面をタッチ

3 ⚙

4 [パレンタルコントロールパスワード] の 変更

5 パスワードを入力▶ 決定
入力されたパスワードは、「・・・・」と表示されます。(初期値：0000)

6 新しいパスワードを入力▶ 決定

7 再度同じパスワードを入力 ▶ 決定
新しいパスワードが設定されます。

■ パレンタルレベルを設定する

1 MENU ▶ DVD/CD

2 画面をタッチ

3 ⚙

4 [視聴制限(パレンタルレベル)] の設定キー（初期値：OFF）

5 パスワードを入力▶ 決定

6 パレンタルレベルを選択 ▶ セット
パレンタルレベルが設定されます。
OFF をタッチすると、すべてのDVDビデオのパレンタルレベルに対して視聴制限が解除されます。

カントリーコードを設定する（DVDビデオ）

カントリーコードは、国を識別するためのコードです。パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVDのカントリーコードを設定する必要があります。
→ P.49

1 MENU ▶ DVD/CD

2 画面をタッチ

3 ⚙

4 [カントリーコード] の設定キー（初期値：7480（日本））

5 DVDに記録してある国、または地域のカントリーコードを入力

6 決定

CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く

本機では、音楽CDのほかに、MP3・WMA形式の音楽データを保存したディスクをお楽しみいただけます。

ディスクを再生する

— お知らせ

- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

以下のディスクを再生すると、アーティスト名、トラックタイトルなどの情報が表示されます。

● CD-TEXTの入ったディスク
● ID3タグ、WMAタグの入ったディスク

上記以外のディスクを再生した場合は、「Track01」などの番号のみ表示されます。

— MEMO

- ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）を再生した場合、トラックとトラックの間に2 ～ 3秒の無音部分が発生します。

CDを再生する

1 CDをセットする、または MENU ▶ DVD/CD
本機にセットされたCDが再生されます。

現在再生中のトラック名、アーティスト名、アルバム名が表示されます。

MP3・WMAのディスクを再生する

1 MP3・WMAディスクをセットする、または MENU ▶ DVD/CD
本機にセットされたディスクが再生されます。

現在再生中のトラック名、アーティスト名、アルバム名、フォルダ名が表示されます。

早戻し/早送りする

1 再生中に ◀◀（早戻し）、または ▶▶（早送り）（長押し）

◀◀、▶▶から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前/次のトラックを再生する

1 再生中に ◀◀ または ▶▶

◀◀をタッチするとトラックの先頭に戻り、さらに◀◀をタッチするごとに前のトラックに移動します。

前/次のフォルダを再生する（MP3・WMA再生時のみ）

1 再生中に ▲ 、▼

▲、▼をタッチするごとに、前/次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭のトラックが再生されます。

フォルダリスト/トラックリストから再生する

― お知らせ ―

- 走行中はフリック操作によるフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 MENU ▶ DVD/CD

2 ☰

3 （MP3・WMAの場合）再生中のフォルダを選択

トラックリストが表示されます。
再生中以外のフォルダを選択した場合は、フォルダリストが表示されたまま、選択したフォルダの先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

（CDの場合）

トラックリストが表示されます。

4 トラックを選択

選択したトラックから再生がはじまります。

リピート・シャッフル再生をする

1 MENU ▶ DVD/CD

2 トリックプレイキーをタッチ ▶ 目的の項目を選択

トリックプレイキー

※画面は音楽CD再生の場合です。

（1曲リピート）：
現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

（フォルダリピート）：
現在再生中のフォルダの全トラックをリピート再生する。（MP3・WMAのみ）

（全曲リピート）：
ディスク内の全トラックをリピート再生する。

（ランダム）：
ディスク内の全トラックをランダムに再生する。

（フォルダランダム）：
現在再生中のフォルダ内の全トラックをランダムに再生する。（MP3・WMAのみ）

3 トリックプレイキーをタッチ

元の画面に戻ります。

スキャン再生をする

全トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

1 MENU ▶ DVD/CD

2 （スキャンキー）をタッチ

再度スキャンキーをタッチするとスキャン再生が解除され、全トラックリピート再生モードに切り替わります。

microSDカード/USBメモリーのファイルを聴く

本機では、お手持ちのmicroSDカードやUSBメモリーに保存した音楽を再生できます。

microSDカード/USBメモリーを再生する

microSDカードやUSBメモリーを使用して、パソコンなどで編集したMP3/WMA形式のオーディオファイルを再生できます。

― お願い ―

- USBメモリーを車室内に放置しないでください。炎天下など､車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のUSBメモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

― お知らせ ―

- 本機にiPodを接続している場合は、USBメモリーはご利用になれません。

再生する

1 microSDカード、またはUSBメモリーを接続

2 MENU ▶ SD
または MENU ▶ USB / iPod
microSDカード、またはUSBメモリーのファイルが再生されます。

現在再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名、フォルダ名が表示されます。

※画面はmicroSDカード再生の場合です。

— MEMO —

• microSDカードおよびUSBメモリー内のファイルは、ファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を入力してください。

早戻し/早送りする

1 **再生中に ⏮（早戻し）、または ⏭（早送り）（長押し）**
⏮、⏭から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前/次のトラックを再生する

1 **再生中に ⏮ または ⏭**
⏮をタッチするとトラックの先頭に戻り、さらに⏮をタッチするごとに前のトラックに移動します。

フォルダリスト/トラックリストから再生する

— お知らせ —

• 走行中はフリック操作によるフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 MENU ▶ SD
または MENU ▶ USB / iPod

2 ☰

3 **再生中のフォルダを選択**
トラックリストが表示されます。
再生中以外のフォルダを選択した場合は、フォルダリストが表示されたまま、選択したフォルダの先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

4 **トラックを選択**
選択したトラックから再生がはじまります。

前/次のフォルダを再生する

1 **再生中に ▲ 、▼**
▲、▼をタッチするごとに、前/次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭のトラックが再生されます。

リピート・シャッフル再生をする

1 MENU ▶ SD
または MENU ▶ USB / iPod

2 **トリックプレイキーをタッチ ▶ 目的の項目を選択**

トリックプレイキー

：
全トラックをリピート再生する。

：
現在再生中のフォルダ内の全トラックをリピート再生する。

：
現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

：
全フォルダからランダムにフォルダを選択し、さらにそのフォルダ内からランダムに選択したトラックを再生する。

：
現在再生中のフォルダ内の全トラックをランダムに再生する。

3 **トリックプレイキーをタッチ**
元の画面に戻ります。

スキャン再生をする

全トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

1 MENU ▶ SD
または MENU ▶ USB / iPod

2 **（スキャンキー）をタッチ**
再度スキャンキーをタッチするとスキャン再生が解除され、全トラックリピート再生モードに切り替わります。

iPodを聴く/
iPodビデオを見る

接続できるiPod

— MEMO —

- 接続できる機器の最新情報については、以下をご覧ください。
  http://www.smart-acs.com/oem/daihatsu/pc/index.html

— お願い —

- 車のエンジンスイッチをOFFにした後は、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があるため、iPodの電源を消耗するおそれがあります。

— お知らせ —

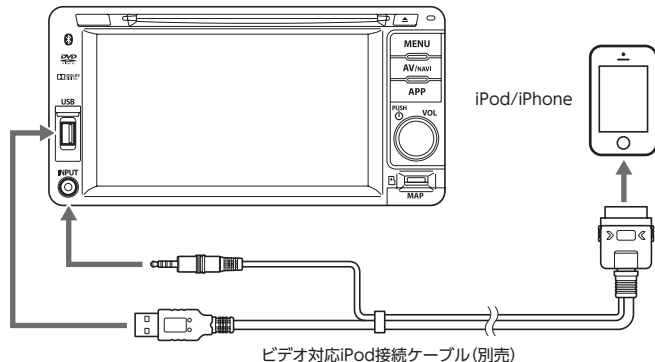
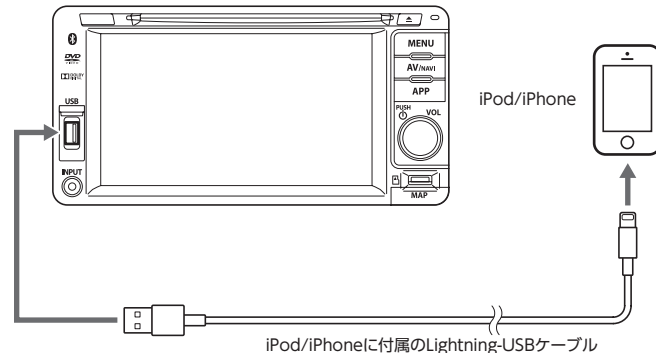
- iPodの動作についてはすべてを保証するものではありません。
- 本機と接続するときは、iPodのヘッドフォンなどのアクセサリーを使用しないでください。
- iPodの機種やソフトウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。
- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しないことがあります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- ビデオファイルのみ保存している場合、iPodが認識されない場合があります。1つでも音楽ファイルを保存すると解消されます。
- iPodの機種によっては再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- iPod touch®、またはiPhone®をBluetooth接続している状態で、Bluetoothオーディオ再生、またはハンズフリー通話を行うと、iPodモードで音声が出力されないことがあります。iPod touch、iPhone本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetooth（CAR-BT）からDockコネクタへ切り替えてください。または、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- オーディオ機器をBluetooth接続した状態では、USB接続したiPod touch、またはiPhoneの音声が出力されないことがあります。その際は、Bluetoothの接続方法を「音楽再生のみ」、「ハンズフリー通話＋音楽再生」以外に切り替え、再度iPod touch、またはiPhoneを接続してください。→ P.26

— MEMO —

- iPodの動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲やビデオを選択することで操作可能になるときがあります。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
- iPodが操作不能になった場合は、iPod本体をリセットし、再度接続してください。
  リセット方法の例
  - iPodの場合：
    「センター」ボタンと「メニュー」ボタンをAppleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。
  - iPod touchの場合：
    「スリープ/スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。

  iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書などで確認してください。
  ※ iPodをリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。

iPod/iPhoneの接続

（Dockコネクタ搭載機の場合）

（Lightningコネクタ搭載機の場合）

お知らせ

- Lightningコネクタ搭載機でiPodビデオを見ることはできません。
- iPhone5の場合は、Apple純正Lightning-Digital AVアダプタ（別売）、およびHDMIケーブル（別売）を使用してもiPodビデオを見ることはできません。

MEMO

- 上記の接続方法でiPod/iPhoneの充電が可能です。

iPodを再生する

本機では、iPodを接続してiPod内の音楽データやビデオ映像をお楽しみいただけます。

準備

- Dockコネクタ搭載のiPodは、別売のビデオ対応iPod接続ケーブルが必要です。
- Lightningコネクタ搭載のiPodは、iPod/iPhoneに付属のLightning-USBケーブルを使用します。

お願い

- 走行中は、iPod本体の操作はしないでください。
- iPhone、iPod本体、それらのケーブル類を車内に長時間放置しないでください。高温により変形・変色したり、故障のおそれがあります。
- 接続中のiPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。
- iPodは、安全な場所に置いてご使用ください。

お知らせ

- 本機とiPodを接続すると、iPodからは操作できません。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

MEMO

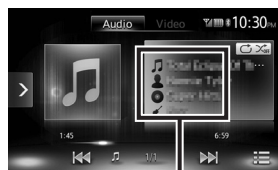
- 万一iPodが操作不能になったときはiPodをリセットしてください。iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書などで確認してください。
- オーディオファイル再生中のiPodを本機に接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。ビデオ対応iPodにおいてビデオ再生中に接続した場合は、iPodにより再生位置が異なることがあります。ビデオを見る場合、再度ビデオファイルを選択してください。

iPodを聴く

準備

- Dockコネクタ搭載のiPodは、別売のビデオ対応iPod接続ケーブルを本機のUSB端子に接続します。
  Lightningコネクタ搭載のiPodは、iPod/iPhoneに付属のLightning-USBケーブルを本機のUSB端子に接続します。
  すでに接続されている場合は、以下の方法で再生します。

1 MENU ▶ USB / iPod

iPod内のトラックが再生されます。

現在再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名が表示されます。

iPodビデオを見る

⚠ 警告

- **運転者がiPodビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**

準備

- 別売のビデオ対応iPod接続ケーブルを本機のUSB端子に接続します。
- 別売のビデオ対応iPod接続ケーブルのビデオ端子を、本機のAUX端子に接続します。
- iPodの接続方法を「USB + VTR」に設定します。→ P.22

お知らせ

- 本機は安全のため、停車時のみiPodビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。
- ソフトウェアが2.0より古いiPod touchは、ビデオ再生に対応しておりません。
- OSのバージョンによっては、iPodビデオ再生時に映像が表示されない場合があります。その際は、iPod側でミュージックアプリケーションをフォアグランドにすることで症状が改善される場合があります。

1 MENU ▶ USB / iPod

iPodビデオが再生されます。

画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。

現在再生中のトラック名が表示されます。

何も操作しないまま5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。手動でキーを非表示にするには、戻る をタッチします。

MEMO

- オーディオが再生された場合は、手動でiPodビデオの映像に切り替えられます。

早戻し/早送りする

1 **再生中に ⏪（早戻し）、または ⏩（早送り）（長押し）**

⏪、⏩から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前/次のトラック・チャプターを再生する

1 **再生中に ⏪ または ⏩**

チャプターの存在するトラックを再生している場合は、前、または次のチャプターの先頭トラックが再生されます。

⏪をタッチするとトラックの先頭に戻り、さらに⏪をタッチするごとに前のトラックに移動します。

リピート・シャッフル再生をする

お知らせ

- iPodの機種によっては、リピート再生ができない場合があります。
- シャッフル再生中に、iPodをビデオモードに切り替えると、シャッフル再生は自動的に解除されます。

1 MENU ▶ USB / iPod

2 Audio **または** Video

3 **トリックプレイキーをタッチ ▶ 目的の項目を選択**

（シャッフルの場合（オーディオのみ））

シャッフルOFF：
シャッフル再生を解除する。

アルバムシャッフル：
全アルバムをランダムに再生する。アルバム内のトラックは順番に再生されます。

トラックシャッフル：
現在再生中のアルバム内の全トラックをランダムに再生する。

（リピートの場合）

1曲リピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

全曲リピート：
全アルバムの全トラックをリピート再生する。

選択した動作での再生がはじまります。

4 **トリックプレイキーをタッチ**

元の画面に戻ります。

条件を指定して再生する

さまざまな条件からトラックを探して再生できます。

お知らせ

- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。

1 MENU ▶ USB / iPod

2 Audio または Video

3 （リストアイコン）

4 **希望の項目を選択**

MEMO

- 選択できる項目例：
  （オーディオの場合）
  トラック/プレイリスト/アーティスト/アルバム/その他（ジャンル/作曲者/オーディオブック/Podcasts）
  （ビデオの場合）
  ビデオプレイリスト/その他（テレビ番組/レンタルムービーなど）

トラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

5 **トラックを選択**

選択したトラックの再生がはじまります。
× をタッチすると、手順3の画面に戻ります。

iPodの設定をする（ビデオのみ）

iPodビデオの画質を調整する

1 MENU ▶ USB / iPod

2 Video

3 （設定アイコン）

4 **[画質調整] の セットアップ**

5 **調整する項目の − または ＋**

画面の映像を見ながら画質を調整します。

6 戻る

調整した画質に設定されます。画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

iPodの接続方法を切り替える

iPodの接続方法を、「USB」または「USB + VTR」から選択します。（初期値：USB）

MEMO

- 接続方法を変更した場合は、iPodの接続を一度解除して再度接続してください。

1 MENU ▶ USB / iPod

2 Video

3 （設定アイコン）

4 **[接続方法] の 変更**

5 **接続方法を選択**

USB：
iPodはミュージックモードのみの対応になります。

USB + VTR：
iPodビデオを見る場合に選択します。

Bluetoothオーディオを聴く

Bluetoothオーディオを聴くには

Bluetoothに対応しているオーディオ機器を本機に登録して、音楽を再生できます。

準備

● はじめてBluetoothオーディオを利用するときは、本機に登録（ペアリング）します。→ P.26

お願い

- ポータブル機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

お知らせ

- Bluetooth方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetoothオーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。機能が非対応の場合は、ボタンやキーを押すことができません。または操作不可メッセージが表示されます。ただし、オーディオ機器により操作不可メッセージも表示されないことがあります。
- Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置くことをおすすめします。
- 走行中はペアリングを実行できません。
- Bluetoothオーディオ対応の携帯電話を使用して電話関連機能やオンライン機能を実行している間は、オーディオ音声は出力されません。
- iPhoneをBluetoothオーディオとして再生中、iPhone側でBluetooth画面を表示すると、音飛びが発生することがあります。このような場合は、Bluetooth画面の表示を閉じれば正常に再生されます。
- Bluetoothオーディオは、本機からの自動接続を行いません。接続したいオーディオ機器を操作し、接続を行ってください。

MEMO

- Bluetoothオーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器は、ハンズフリー機器とあわせて5台までペアリングできます。すでに5台ペアリングされている場合は、ペアリングの情報を1台分消去してから、新しく登録する必要があります。
- Bluetoothオーディオ対応の携帯電話によっては、ハンズフリープロファイルを接続すると同時に、携帯電話側から自動でオーディオプロファイルの接続を行う機器があります。
- 接続していても音声が出力されない場合は、オーディオ機器からプロファイル切断を行い、再度接続操作を行ってください。

Bluetoothオーディオを再生する

お知らせ

- Bluetoothオーディオ機器の種類によって、本機からの再生、一時停止、早戻し、早送りなどの操作ができないことがあります。この場合、Bluetoothオーディオ機器から操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器によっては、自動で再生が開始されないことがあります。その場合は、▶/II をタッチするか、またはBluetoothオーディオ機器側で操作し、再生させてください。

再生する

1 MENU ▶ BTオーディオ

Bluetoothオーディオが再生されます。
再生を一時停止、または再開するには ▶/II をタッチします。

早戻し/早送りする

1 **再生中に ◀◀（早戻し）、または ▶▶（早送り）（長押し）**

◀◀、▶▶ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前/次のトラックを再生する

1 **再生中に ◀◀ または ▶▶**

◀◀ をタッチするとトラックの先頭に戻り、さらに ◀◀ をタッチするごとに前のトラックに移動します。

トラックリストから再生する

お知らせ

- この機能は、AVRCP Ver1.4に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器の種類によっては、本機能は使用できません。
- Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーが起動していないときは、リスト操作ができない場合があります。プレーヤーを起動させ、再度操作を行ってください。
- Bluetoothオーディオ機器の種類によっては、☰ をタッチできない場合があります。

1 MENU ▶ BTオーディオ

2 ☰

3 ♫

4 **トラックを選択**

選択したトラックから再生がはじまります。

条件を指定して再生する

フォルダやカテゴリーから、再生したいトラックを探して再生できます。

お知らせ

- この機能は、AVRCP Ver1.4に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器の種類によっては、本機能は使用できません。
- Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーが起動していないときは、リスト操作ができない場合があります。プレーヤーを起動させ、再度操作を行ってください。

1 MENU ▶ BTオーディオ

2 ☰

3 ♫

4 **希望の項目を選択**

選択できる項目は、Bluetoothオーディオ機器の種類によって異なります。

トラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

5 **トラックを選択**

選択したトラックから再生がはじまります。

× をタッチすると、手順2の画面に戻ります。

リピート・シャッフル再生をする

お知らせ

- この機能は、AVRCP Ver1.3以上に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器の種類によって、シャッフル再生ができない場合があります。

1 MENU ▶ BTオーディオ

2 **トリックプレイキーをタッチ ▶ 目的の項目を選択**

トリックプレイキー

:
現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

:
現在再生中のグループ内の全トラックをリピート再生する。

:
Bluetoothオーディオ内の全トラックをリピート再生する。

:
全曲シャッフル、またはグループシャッフルを解除する。

:
現在再生中のグループ内の全トラックをランダムに再生する。

:
Bluetoothオーディオ内の全トラックをランダムに再生する。

3 **トリックプレイキーをタッチ**

元の画面に戻ります。

接続した外部機器を視聴する（AUX）

オーディオのモードをAUXに切り替えることによって、AUX端子に接続された外部機器からの音声や映像を本機で再生できます。

⚠ 警告

- **運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。**

準備

● 本機に外部機器を接続するには、以下のケーブルが必要です。

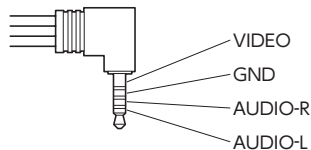
音声を聴く場合

- 市販の3.5mmステレオミニプラグケーブル（抵抗なし）

映像を見る場合

- 市販の3.5mm4極ミニプラグ-RCA変換ケーブル

※ 本機は下記端子配列のミニプラグに対応しています。ケーブルをご購入の際はご注意ください。

お願い

- 接続する外部機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

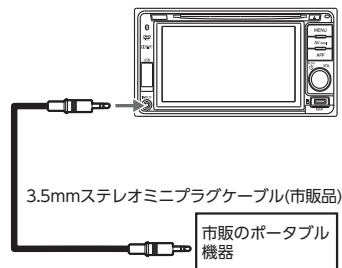
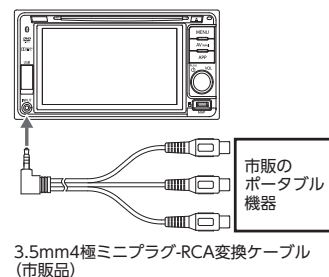
お知らせ

- 本機は安全のため、停車時のみテレビやビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。

外部機器を接続する

〈オーディオを聴く場合の接続例〉

〈映像を見る場合の接続例〉

3.5mm4極ミニプラグ-RCA変換ケーブル（市販品）

— MEMO —
- 接続した外部機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 外部入力接続端子について
  - ステレオミニプラグ（3.5φ）が接続できます。オーディオケーブル（抵抗なし）、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
  - 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットで充電しながら使用すると、雑音が出ることがあります。
- 音声モードと映像モードの切り替え時に画面が一瞬黒くなりますが、故障ではありません。

外部機器の音声を聴く

1 MENU ▶ AUX

2 画面をタッチ ▶ Audio

3 **外部機器を操作する**
音声が再生されます。

外部機器の映像を見る

1 MENU ▶ AUX

2 Video

3 **外部機器を操作する**
映像や音声が再生されます。

— MEMO —
- iPhone連携中は、アプリケーション画面が表示されますが、タッチで操作はできません。iPhone連携を使用する場合は「Smart Accessを利用する」をご覧ください。
→ P.30

外部機器視聴の設定をする

音量差を補正する

接続する外部機器の種類によって発生する音量差を補正します。

1 MENU

2 AUX

3 **画面をタッチ** ▶ ⚙

4 **[音声レベル] の設定キー（初期値：Mid）**

5 **音声レベルを選択**

6 閉じる

7 戻る
調整した音量に補正されます。

画質を調整する

1 MENU

2 AUX

3 **画面をタッチ** ▶ ⚙

4 **[画質調整] の** セットアップ

5 **調整する項目の** − **または** +
画面の映像を見ながら画質を調整します。

6 戻る
調整した画質に設定されます。画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。
設定メニューの 昼／夜切り替え で昼夜を切り替えてから、画質調整をしてください。→ P.39

画面サイズを切り替える

— お知らせ —
- 画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたが異なる場合があります。

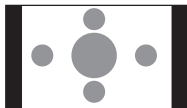
1 MENU

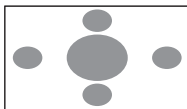
2 AUX

3 **画面をタッチ** ▶ ⚙

4 **[画面設定] の設定キー（初期値：フルワイド）**

5 **画面の表示サイズを選択**

ノーマル：

映像が縦横の比率を変えずに中央に表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：

映像が画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

シネマ：

通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使います。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

6 閉じる

7 戻る

選択したサイズで画面が表示されます。

Bluetooth対応機器を登録する

携帯電話などのBluetooth対応機器を登録して、本機から電話の発着信やオーディオを再生できます。
Bluetooth対応携帯電話を用いるとケーブルを接続することなく、Bluetoothを利用したハンズフリー機能を使用できます。
接続可能な携帯電話の情報については、クラリオン株式会社のホームページをご覧ください。
http://www.smart-acs.com/oem/daihatsu/pc/index.html

準備

- Bluetoothを利用するには、本機のBluetooth機能をONにします。→ P.38
  またBluetooth対応機器を利用するには、本機に登録(ペアリング)します。→ P.26

お知らせ

- 走行中は選択できる項目が限定されます。

Bluetooth（ブルートゥース）とは

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうしで通信を行います。
本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を接続して利用できます。

Bluetoothの各機能を使用するには、下記プロファイルに対応した携帯電話が必要となります。

ハンズフリー通話
HFP（Hands-Free Profile)

電話帳転送
OPP（Object Push Profile)

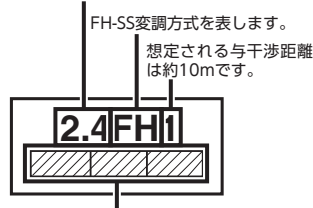
電話帳転送および通話履歴等の同期
PBAP（Phone Book Access Profile)

オーディオ
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile)

Bluetoothプロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

Bluetooth機器の取り扱いについて

Bluetooth機器を使用される前にお読みください。
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局)、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1.この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局および、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2.万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか、または電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。
3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、ダイハツ販売会社までお問い合わせください。

Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング）

はじめてBluetooth対応機器を利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。

お知らせ

- 走行中はペアリングを実行できません。
- あらかじめ機器側でもBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- ハンズフリー中（発信、着信、通話）は、ほかのBluetooth対応機器の接続（通話、通信）やペアリングはできません。また、ハンズフリー中は、オーディオ音声は出力されません。

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetoothアイコン

2 **[携帯機器の設定] の** セット

3 追加したい機器の 追加

4 Bluetooth接続方法を選択

— MEMO

- Bluetoothの接続方法によって、利用できる機能が異なります。詳しくは、P.51をご覧ください。

ハンズフリー通話＋スマートフォン連携：
ハンズフリーフォンとスマートフォン連携に利用する場合に選択する。

ハンズフリー通話＋音楽再生：
ハンズフリーフォンとBluetoothオーディオとして利用する場合に選択する。

ハンズフリー通話のみ：
ハンズフリーフォンとしてのみ利用する場合に選択する。

音楽再生のみ：
Bluetoothオーディオとしてのみ利用する場合に選択する。

スマートフォン連携のみ：
スマートフォン連携のみに利用する場合に選択する。

5 Bluetooth対応機器から「CAR-BT」（初期値）を選択し、パスキー「1234」（初期値）を入力

Bluetooth対応機器から本機の探索を行い、ペアリングが完了します。

— MEMO

- 携帯機器の設定画面の[Bluetoothで接続] がONに切り替わります。Bluetooth機能を使用する際は、本設定がONであることを確認してください。

次回から MENU ▶ 電話 をタッチすると、電話番号入力画面に変わります。

— MEMO

- Bluetooth対応機器の機種によっては、パスキー入力は不要です。また、機種によっては、本機に入力したパスキーが機器側のパスキーと同一か、確認する画面が表示されます。登録を行う場合は、画面にしたがって操作してください。
- ペアリング完了後、Bluetooth対応機器上で接続確認の操作が必要な場合があります。
- Bluetooth対応機器側の操作について詳しくは、機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機のBluetooth対応機器の受信感度、電池残量の表示は、接続する機器によっては、数値が一致しない場合があります。
- Bluetooth対応機器は、5台までペアリングできます。6台目をペアリングするには、すでに登録されたBluetooth対応機器を消去する必要があります。→ P.27
- 携帯電話にBluetooth対応機器を登録する方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 機器名称、パスキーは変更可能です。
- Bluetooth対応機器が「接続待機中」の設定でない場合や待ち受け状態でない場合は、自動的に接続されないことがあります。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth対応機器と距離が離れているなど、何らかの理由で接続が切断された場合に、自動的に再接続を試みます。
- Bluetooth対応機器によっては、機器側の問題で通信異常が発生し、操作が正常にできなかったり、表示されないことがあります。その場合は、Bluetooth機能のOFF→ON切り替えを行ってください。（初期値：OFF）
- Bluetooth対応機器のBluetooth機能をOFF→ONに切り替える際には、本機のBluetooth機能もOFF→ONに切り替えてください。
- Bluetooth機能をOFFにすると、本機でBluetooth機能は操作できません。また、Bluetooth対応機器から本機への接続や操作もできなくなります。

接続するBluetooth対応機器を切り替える

本機に複数のBluetooth対応機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

— お知らせ

- Bluetooth対応機器は、5台までペアリング可能ですが、接続できるのは1台だけです。

1 MENU ▶ 設定 ▶ [Bluetooth]

2 [携帯機器の設定] の セット

3 [Bluetoothで接続] が「ON」になっていることを確認

4 切り替える機器の 選択する

5 Bluetooth接続方法を選択

電話画面に切り替わります。

— MEMO

- 現在使用中のBluetooth対応機器の切り替えを行うと、発着信履歴などの機器情報も選択した機器の情報に切り替わります。
- Bluetooth対応機器を再起動した場合、機器の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合は、本操作で接続したい機器を選択してください。

登録したBluetooth対応機器を消去する

ペアリング済みのBluetooth対応機器の情報を消去します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ [Bluetooth]

2 [携帯機器の設定] の セット

3 消去したい機器の [ゴミ箱]

4 OK

— MEMO

- 携帯電話の登録情報を消去すると、該当する携帯電話の発着信履歴、電話帳情報も消去されます。
- Bluetooth対応機器の登録情報を消去している最中に本機の電源を切ると、消去できない場合があります。その場合は電源を入れ、再度消去の操作を行ってください。

携帯電話を利用する

— お願い —
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

通話中の画面

通話中は、以下のような画面が表示されます。

通話中画面

:
音量設定画面を表示する。

:
送話音声をミュート状態にする。

:
携帯電話本体での通話に切り替える。
ご使用の携帯電話によっては、プライベート動作にならない場合があります。

:
通話を終了する。

:
番号入力画面が表示された場合、通話中にパスワードなどの数字を入力する。
をタッチすると元の画面に戻ります。

通話中に AV/NAVI を押すと、以下のような画面になります。この画面のまま、目的地検索などの操作も行えます。

通話中地図画面

電話を切り現在地が表示されます。

通話時間、相手先の名前、または電話番号が表示されます。

携帯電話本体での通話に切り替わります。

電話コントロールバーの表示/非表示を切り替えます。

— MEMO —
- 携帯電話の機種によっては、通話中に第三者から着信があった場合は、自動的に着信を拒否します。その際の着信履歴は保存されません。
- 通話中に車が携帯電話のサービス圏外（電波が届かないところ）に移動したときは回線が切れます。
- ハンズフリーで通話中は、オーディオソースの選択切り替えができません。
- 携帯電話が待ち受け状態でないと、発着信できない場合があります。

番号を入力して電話をかける

— お願い —
- 走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。

— お知らせ —
- 一般の電話にかけるときは、市内通話であっても必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 携帯電話によっては、ダイヤル発信後、発信中の電話を切った場合、すぐに再発信できない場合があります。しばらく経ってから、ダイヤル発信を行ってください。

1. MENU ▶ 電話
2. **電話番号を入力**
3. 電話番号が発信され、相手を呼び出します。
   :
   呼び出し途中でタッチした場合、電話を切る。
4. **通話を終了する場合は**
   電話を切り、電話をかける前の画面に戻ります。
   発信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。同一電話番号の場合、最新の履歴のみが表示されます。

発着信履歴からかける

— お知らせ —
- 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。

1. MENU ▶ 電話
2.
3. または
4. **ダイヤルしたい相手先を選択**
5. 発信
   登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

— MEMO —
- 発着信の履歴は、本機に記録された最新の10件を表示します。
- 電話帳に登録されている電話番号の場合、登録している名称を表示します。

発着信履歴を消去する

1. MENU ▶ 電話
2.
3. または
4. 一括消去
5. OK
   すべての発信履歴、またはすべての着信履歴が消去されます。

電話帳を登録する

あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に登録しておき、そこから電話をかけられます。
携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。
詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

— MEMO —
- 電話帳を転送後、携帯電話の接続が切断される場合があります。その場合は、再度、電話機選択画面から接続したい携帯電話を選択してください。

1. MENU ▶ 電話
2. ▶
3. 携帯メモリ一括ダウンロード

   — MEMO —
   - すでに電話帳データが登録されている場合は、携帯メモリダウンロードと表示されます。

4. **ダウンロード方法を選択**

   携帯メモリ一括ダウンロード：
   Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに上書き保存されます。
   前回ダウンロードしたデータは上書きされるため、利用できなくなります。

   携帯メモリ追加ダウンロード：
   Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに追加保存されます。前回ダウンロードしたデータは上書きされずに利用可能です。

   キャンセル：
   処理を中断して、1つ前の画面に戻る。

5. **携帯電話から電話帳転送**
   現在選択されている携帯電話の電話帳が本機に転送されます。

— MEMO —
- 登録可能な電話帳データは、携帯電話1台あたり1000件です。
- 電話帳の1つの名称に対して、最大5件の電話番号を表示できます。
- 電話帳の転送は、同一の電話番号でも常に追加で登録され上書きされません。必要に応じて電話番号を消去してください。
- 転送した電話帳の表示順序は、携帯電話で表示される順序とは異なります。読みがなで並べ替えを行いますので、ダイヤルの際は発信する相手の電話番号をご確認ください。

電話帳から電話をかける

1. MENU ▶ 電話
2. ▶
3. **名前を選択**
4. **電話番号を選択**
5. 発信
   登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

— MEMO —
- 電話帳を登録する方法は、「電話帳を登録する」をご覧ください。→ P.29

電話帳のデータを消去する

1. MENU ▶ 電話
2. ▶
3. 一括消去
4. OK
   電話帳データが一括消去されます。

電話を受ける

本機に接続した携帯電話が着信すると、着信画面が表示されます。

⚠ 注意
- **走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。**

1. **電話がかかってきたら**

：
応答を保留する。

：
着信中にタッチした場合、着信を拒否する。

2. **通話を終了する場合は**
   電話を切り、着信直前の画面に戻ります。
   着信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）が着信履歴として保存されます。

電話の音量を設定する

1. MENU ▶ 電話 ▶
2. **着信音量/受話音量/送話音量を設定**

   着信音量／受話音量：
   レベル1 ～ 16に設定できます。（初期値：レベル4）

   送話音量：
   レベル1 ～ 5に設定できます。（初期値：レベル3）

— MEMO —
- 通話中に音量を調整した場合、ほかのオーディオソースに切り替えて音量を変更しても、次回電話を受発信したときは元の音量で通話できます。

Smart Accessを利用する

Smart Accessは、自動車ユーザーの皆様に快適・安心・便利なドライブをお楽しみいただくための、クラリオン株式会社のテレマティクスサービスです。
車とSmart Accessとをスマートフォンなどで「つなげる」ことで、クラウドをはじめとしたさまざまな技術により、エンターテインメント・ドライブ関連情報・インターネット情報など、多彩な利便性を車の中のお客様に提供します。

スマートフォン連携とは

お手持ちのスマートフォンと本機を接続して、スマートフォン上で動作する各種アプリケーションを本機から操作できます。
アプリケーションで再生する音声を本機に接続したスピーカーから出力したり、アプリケーションで表示する画像を本機に表示できます。これを「スマートフォン連携」と呼びます。
本機と連携できるスマートフォンは以下のとおりです。

● 対象機種：iPhone 4、iPhone 4S、Android搭載機

※iPhone 5の場合は、Apple純正Lightning-Digital AVアダプタ（別売）、およびHDMIケーブル（別売）を使用すればご利用いただけます。

(2013年10月時点)

<Android搭載機のみ>

● 対応Bluetoothプロファイル：
SPP(Serial Port Profile)
HID(Human Interface Device Profile)

● HDMI出力の解像度：
480p(720X480/640X480)
576p(720X576)

MEMO

- Android搭載機の機種によっては、スマートフォン側のHDMI出力設定を有効にする必要があります。
- 接続できる機器の最新情報、および対象OSについては、以下をご覧ください。
http://www.smart-acs.com/oem/daihatsu/pc/index.html

また、本機能では、スマートフォン連携に対応したアプリケーションのみお使いいただけます。本取扱説明書では、「連携対応アプリケーション」と呼びます。

お願い

- スマートフォン連携機能を利用する場合、スマートフォンの通信料金が発生します。通信料金は、利用されたスマートフォンの契約者のご負担となります。ご利用方法によっては、携帯電話会社からの請求額が高額となる場合があります。事前にご契約の携帯電話会社の料金プランや利用方法をご確認ください。利用頻度により定額データプランなど、最適な料金プランでのご利用をおすすめします。

お知らせ

- 走行中は、運転の妨げにならないよう、操作できないアプリケーションがあります。
- リアルタイムで配信される情報コンテンツの提供については、当該権利を有する第三者に帰属します。当該権利を有する第三者の事由によりサービス内容が変更、停止される可能性があります。

連携対応アプリケーションについて

スマートフォン連携を利用するには、連携対応アプリケーション、およびアプリケーション管理ソフト「Smart Access」をスマートフォンにインストールする必要があります。
まず、App StoreやGoogle Play Storeから「Smart Access」を検索してインストールしてください。
次に、連携対応アプリケーションをインストールします。連携対応アプリケーションは、スマートフォン側でSmart Accessを起動し、オススメリストからインストールしてください。
連携対応アプリケーションは随時追加していく予定です。
アプリケーションの使いかたについては、スマートフォン側で起動した各アプリケーションのヘルプをご覧ください。

お願い

- 連携対応アプリケーションの仕様ならびにサービスは、予告なく変更・廃止することがあります。またサーバーのメンテナンスやトラブルの発生により、予告なくサービスを停止することもあります。あらかじめご了承ください。

スマートフォン連携までの流れ

スマートフォン連携は、以下の流れで行います。

お知らせ

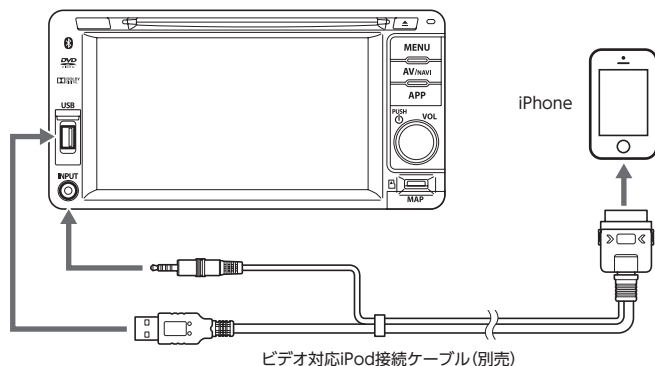
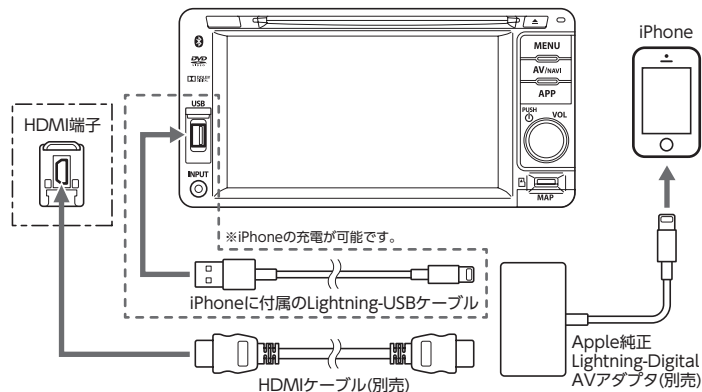
- スマートフォン連携中は、iPhone側での操作はできません。

(iPhoneの場合)

1. 設定メニューの「車載機と連携する機器」を「iPhone」に設定する→ P.39

2. iPhone側でSmart Accessを起動する

3. iPhoneと本機を接続する

iPhone 4、iPhone 4Sの場合は、別売のビデオ対応iPod接続ケーブルのUSB端子とビデオ端子を本機のUSB端子とAUX端子に接続します。

iPhone 5の場合は、Apple純正のLightning-Digital AVアダプタ(別売)、およびHDMIケーブル(別売)が必要です。

MEMO

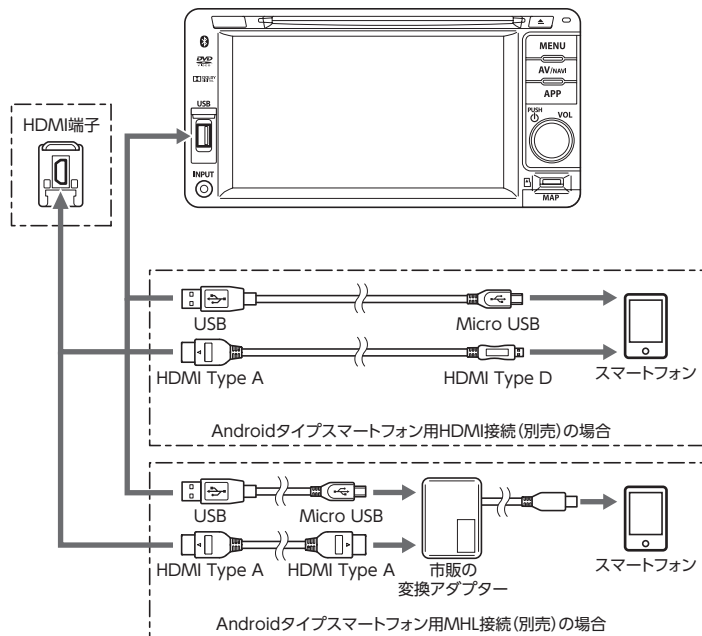
- iPhone 4、iPhone 4Sの場合は、上記の接続方法でiPhoneの充電が可能です。iPhone 5の場合は、Apple純正Lightning-Digital AVアダプタと付属のLightning-USBケーブルを、本機に接続することで充電が可能です。
- iPhone 5の場合は、上記の接続方法では、iPhone内の音楽をメインメニュー USB / iPod で再生できません。SmartAccessの連携対応アプリケーション「Media4car」をご利用ください。

4. (iPhone 5の場合のみ)

設定メニューの「携帯機器の設定」から「用途の設定」を行い、iPhoneをBluetooth接続する→ P.26

5. 本機でアプリケーションを起動する→ P.32

（Android搭載機の場合）

1. 設定メニューの「車載機と連携する機器」を「Android」に設定する→ P.39
2. スマートフォン側でSmart Accessを起動する
3. スマートフォンと本機を接続する
   スマートフォンの機種によって、以下の二通りの接続方法があります。

— お願い —

• MHLアダプタは、EDID転送に対応したアダプタのみご使用ください。

4. 設定メニューの「携帯機器の設定」から「用途の設定」をする→ P.26
5. スマートフォンをBluetooth接続する
   → P.26
6. 本機でアプリケーションを起動する

アプリケーションを起動する

— お知らせ —

• 本機ではスマートフォンのマルチタッチ機能やフリック機能には対応していない場合があります。
• 本機ではアプリケーションの追加や消去はできません。アプリケーションの追加や消去は、スマートフォン側で実行してください。
• スマートフォン連携中は、スマートフォンをスリープ状態にしないでください。正常に動作しなくなります。

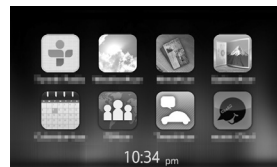
— MEMO —

• はじめてSmart Accessを利用するときは、利用規約確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、確認 をタッチしてください。
• Smart Accessの最新版がある場合は「！」が表示されます。Smart Accessの更新はスマートフォンを本機から取り外し、スマートフォン側のアプリケーション操作で実行してください。

1 APP 、または

MENU ▶ Smart Access

Smart Accessが起動し、スマートフォンにインストールされている連携対応アプリケーションが一覧表示されます。
スマートフォン側でアプリケーションを起動している場合はアプリケーション画面に切り替わります。

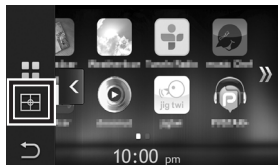
2 起動したいアプリケーションを選択

アプリケーションが起動します。スマートフォンを操作するように、本機の画面からアプリケーションを操作できます。
MENU ▶ Smart Access をタッチすると、アプリケーション一覧画面に戻ります。

画面のタッチ位置を補正する（Android搭載機のみ）

スマートフォン連携中は、本機とスマートフォンの解像度の違いにより、本機に表示されるキーの位置と実際のタッチ位置がずれることがあります。以下の操作により、タッチ位置のずれを自動で補正できます。

1 スマートフォン連携中に APP

サイドメニューが表示されます。

2

:
アプリケーション一覧画面に戻る。

:
アプリケーション一覧画面以外のとき、1つ前の画面に戻る。

:
サイドメニューを非表示にする。

3 はい

いいえ：
処理をキャンセルする。

初期値に戻す　：
タッチ位置の補正値を初期状態に戻す。

4 画面の左上の+マークをタッチ

5 画面の右下の+マークをタッチ

タッチ位置の補正が完了します。

スマートフォン連携を終了する

1 MENU

2 ビデオ対応iPod接続ケーブル、またはHDMIケーブルを取り外す

NaviConアプリケーションを利用する

スマートフォンのNaviConアプリケーションを使用して、地図の操作や、目的地の設定ができます。
NaviConの詳細については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。**

準備

- NaviConをスマートフォンにインストールします。
- 「Bluetoothの接続方法と機能対応表」をご覧のうえ、Bluetooth接続方法を設定してください。→ P.51

お知らせ

- 本機からNaviConの地図表示を変えることはできません。

NaviConで目的地を設定する

NaviConで登録した地点を本機に送信して目的地に設定できます。

1 スマートフォンを本機にBluetooth接続する

お知らせ

- Android搭載機の場合は、ナビゲーションのメインメニュー画面で NaviCon接続 をタッチします。→「ナビゲーション操作ガイド」

2 スマートフォンからNaviConを起動する

3 NaviConから本機に地点情報を転送する

転送された地点が本機に表示されます。
転送方法については「NaviCon」の操作方法をご覧ください。
行き先に設定してルート探索する方法については「ナビゲーション操作ガイド」をご覧ください。

MEMO

- NaviCon側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。
- また、NaviCon側で地図を拡大／縮小すると、本機の地図も拡大／縮小されます。

ステアリングスイッチを使う

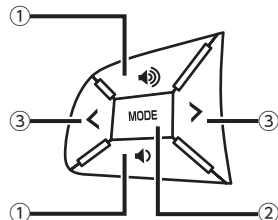
ステアリングスイッチを使うと、車を運転中でもステアリングから手を離さずに本機の操作ができます。

⚠ 警告

- **走行中、運転の妨げにならないように十分注意してください。**

お知らせ

- 本機能は、ステアリングスイッチ装着車で使用できます。

スイッチの名称とはたらき

①ボリュームスイッチ

オーディオ・ビジュアルの音量を調整する。

スイッチを長押しすることで、連続調整もできます。

🔊：音量を大きくする。

🔉：音量を小さくする。

② モードスイッチ（MODE）

オーディオ・ビジュアルのモードを切り替える。

押すたびに、次のモードに切り替わります。

FM1→FM2→AM1→AM2→microSDカード→Bluetoothオーディオ→DVD/CD→ワンセグ→AUX→USB/iPod→FM1

画面が非表示のときにモードスイッチを押すと、直前に選択していたモードへ切り替わります。

また、長押しでナビゲーション画面とオーディオ画面を切り替えます。

③選局（選曲）スイッチ

ラジオ／ワンセグモードにおける選局、またはmicroSDカード／ USBモード等における選曲などを行う。

モード	選局（選曲）スイッチの短押し	選局（選曲）スイッチの長押し
ラジオ/ワンセグ	プリセットチャンネルのアップ／ダウン	自動選局（シーク選局）
microSDカード/Bluetoothオーディオ/DVD/CD/USB/iPod	トラック（チャプター）のアップ／ダウン	早送り／早戻し
交通情報	1620kHz/1629kHzの切り替え	–
AUX	–	

バックモニターを使う

⚠ 警告

- **バックモニターを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。**
- **バックモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。**
- **モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。**
- **バックカメラのレンズの特性により、周囲に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。**
- **以下のような状況では使用しないでください。**
  - **凍結したり、すべりやすい路面、または雪道**
  - **坂道など平坦でない道路**
  - **バックドアやトランクが完全に閉まっていないとき**
  - **タイヤチェーン、応急用スペアタイヤを使用しているとき**
- **外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。**

⚠ 注意

- **雨滴などがバックカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **バックカメラ周辺を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。バックカメラの位置、取りつけ角度がずれてバックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。**
- **バックカメラは、取りはずし・分解・改造をしないでください。バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。**
- **バックカメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。**
- **バックカメラ周辺に高圧洗車機で水をかけると、バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。**
- **バックカメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。**
- **寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。**
- **バックカメラ周辺をぶつけたときは、バックカメラの故障などによりバックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めにダイハツ販売会社で点検を受けてください。**

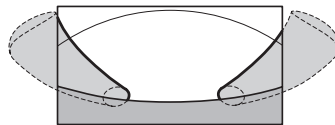
— MEMO —

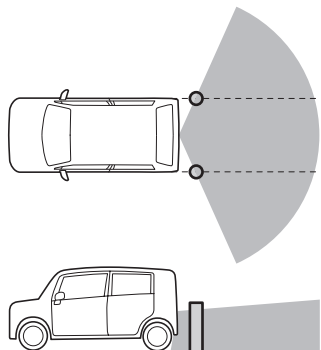
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- バックギアにシフトした瞬間は、一端白画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- バックモニターのバックカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

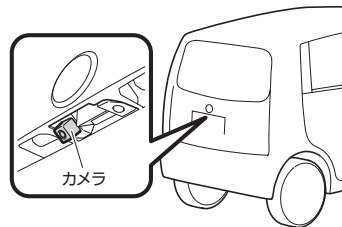
画面に映る範囲

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- バックカメラの映像の範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の画質を調整することができます。→ P.36
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間など）。
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - バックカメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
  - バックカメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
  - 太陽やヘッドランプの光が直接バックカメラのレンズに当たったとき。

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

■ 画面

バンパーの両端付近は映りません。

■ 映る範囲

バックカメラ

ナンバープレートの上側に取り付けられています。

⚠ 注意

バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。

- **バックカメラ周辺にはカメラの視野に影響を及ぼすもの（視野を遮るもの、光を発するもの、光沢素材でできているものなど）は取り付けないでください。**
- **バックカメラ周辺を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。バックカメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。**
- **バックカメラは、取りはずし・分解・改造をしないでください。**
- **バックカメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、レンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。**
- **バックカメラ周辺には高圧洗車機で水をかけないでください。**
- **バックカメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。**
- **寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。**
- **バックカメラ周辺をぶつけたときは、バックカメラの故障などのおそれがあります。早めにダイハツ販売会社で点検を受けてください。**

MEMO

- バックカメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
  水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

バックカメラの映像を表示する

お知らせ

- シフトレバーを R（リバース）にしているときのみ、ガイドの表示および調整ができます。

1 **エンジンスイッチをONにする**

2 **シフトレバーを R（リバース）にする**

バックカメラの映像に切り替わります。
オーディオ関連の画像が表示されているときでも、バックカメラの映像が優先して表示されます。

カメラ表示中に操作できるのは、ロータリボリュームキーによる音量調整のみです。

バックモニターの画質を調整する（バックカメラ）

1 **バックカメラ映像表示中に画面をタッチ**

2 **画質調整**

何もタッチしないまま5秒が過ぎると、画質調整 は非表示になります。

3 **調整する項目の − または ＋**

画面の映像を見ながら画質を調整します。

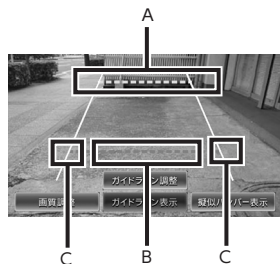
4 **戻る**

調整した画質に設定されます。
画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。
設定メニューの 昼／夜切り替え で昼夜を切り替えてから、画質調整をしてください。→ P.39

ガイドラインの表示を切り替える

1 **バックカメラ映像表示中に画面をタッチ**

2 ガイドライン表示

ガイドラインの表示/非表示が切り替わります。
何もタッチしないまま5秒が過ぎると、ガイドライン表示 は非表示になります。

A：車両後端から約2mの位置
B：車両後端から約50cmの位置
C：車幅+約20cmの目安

リア席モニターを使う

車の後席に別売のリア席モニターを増設すれば、後席で映像をお楽しみいただけます。

準備

● リア席モニターを本機に接続するには、リア席モニターとリア席モニター取付アタッチメントが必要です。

お願い

• リア席モニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

リア席モニターに表示できる映像

リア席モニターに表示できる映像は、以下のとおりです。リア席モニターにコントロールバーなどは表示されません。走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。

● DVD
● AUX
● iPodビデオ

DVD、AUX、iPodビデオ以外のソースを選択しても、リア席モニターには何も表示されません。
本機の画面でナビゲーション画面を表示中でも、リア席モニターには、再生中の映像が表示されます。

各種設定

本機に関するいろいろな操作、オーディオの音質、画質などをお好みで設定できます。

お知らせ

• 走行中は選択できる項目が限定されます。

本機の全般的な設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ ⚙

ショートカットメニュー：
よく使う機能をショートカットキーに割り当てる。→ P.38

操作音：
ボタンやタッチキーを操作したときに、ビープ音を鳴らすかどうかを選択する。（初期値：ON）

時計の24時間表示：
時刻の表示形式を24時間表示/12時間表示で切り替える。（初期値：OFF）

システムソフトウェア：
本機のソフトウェアバージョン情報、製品情報の表示や、プログラムの更新処理を行う。

接続チェック：
各機器と本機との接続状況を確認する。
接続が確認されると、リスト画面に OK が表示されます。

出荷状態に戻す：
本機のデータや設定を初期値に戻す。→ P.51

ショートカットメニューを設定する

1 MENU ▶ 設定 ▶ ⚙

2 **[ショートカットメニュー] の セット**

3 **ショートカットキーに登録したいアイコンを、ショートカットキー登録エリアにドラッグ**

アイコンをタッチしたまま、指を離さずに画面をなぞり、移動先で指を離します。これをドラッグ操作といいます。

ショートカットキー登録エリア

ドラッグしたアイコンがショートカットキーに登録されます。（最大5つ）

Bluetoothの設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 **各キーでBluetooth接続を設定**

接続機器の設定：
Bluetooth機能のON/OFF切り替え、Bluetooth対応機器の登録、切り替え、消去をする。→ P.27

車載機の設定：
本機に設定されている機器名称とパスキーを変更する。→ P.38

機器名称・パスキーを変更する

お知らせ
- デバイスアドレスは変更できません。

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 **[車載機の設定] の セット**

3 **名称 または パスキー**

4 **新しい名称（初期値：CAR-BT）、またはパスキー（初期値：1234）を入力**

5 **セット**

オーディオの音質を設定する

オーディオの音質に関する設定を行います。

1 MENU ▶ 設定 ▶ 🔊

2 **各キーでオーディオの音質を設定**

Balance/Fader：
前後左右のスピーカーの音量バランスを調整する。(初期値:0)→ P.38

Loudness：
音量に合わせて、高音と低音を強調する。（初期値：OFF）

グラフィックEQ：
あらかじめ設定された音質効果メモリーからお好みの音質を選択する。（初期値：Flat）→ P.39
音質効果メモリーを作成して保存する。→ P.39

Sound Restorer：
圧縮オーディオに対して高音域を補完することで、圧縮前の原音に音質を近づける。（初期値：OFF）

Volume Smoother：
再生ソースによる音量レベル差や、映画のシーンごとの音量レベル差などを検知し、音量レベルを自動調整する。（初期値：OFF）
→ P.39

Virtual Bass：
低音域の倍音成分を付加することで重低音を増強し、豊かな低音再生を可能とする。（初期値：OFF）

Vocal Image Control：
ボーカルの音量バランスを調整することで、ボーカルの音像を前後左右に移動する。（初期値：0）
→ P.38

スピーカーの音量バランスやボーカルの音量バランスを調整する

Balance/Faderでは、全体の音量バランスを調整します。Vocal Image Controlは、ステレオ音源の中央に定位するボーカルや主要な楽器などの成分の音量バランスを調整します。スピーカーの構成や乗車人数などに応じて、ボーカルの左右のバランスや奥行き感を調整する際にご使用ください。

1 MENU ▶ 設定 ▶ 🔊

2 **[Balance/Fader] または [Vocal Image Control] の セット**

3 **▲、▼、◀、▶ をタッチして設定**

初期値に戻す：
現在選択している調整内容（音量バランス、またはVocal Image Control）を初期値に戻す。

音質効果メモリーを選んで設定する

お好みの音質を選んで設定できます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ (音声アイコン)

2 [グラフィックEQ] の セット

3 音質を選択

Bass.B：
重低音の増強

High.B：
中高域の増強

Acoustic：
中域（人の声）の増強

Impact：
低域と高域の増強

Smooth：
しっとりと落ち着いた感じ

Flat：
原音、EQをOFF

お好みの音質効果を設定する

1 MENU ▶ 設定 ▶ (音声アイコン)

2 [グラフィックEQ] の セット

3 User 1 、User 2
または User 3

4 調整する

5 音質効果を設定

▲、▼：
低音、中音、高音それぞれの帯域の強弱を調整する。

初期値に戻す：
各帯域の設定を「0」に戻す。
次回からは手順3で同じ設定を呼び出せます。

Volume Smootherを調整する

Volume Smootherは、あらゆる音楽ソースやシーンにおける音量レベル差を自動調整し、音量補正を行う機能です。Volume SmootherをONにすると、オーディオ信号の聴感上の音量レベルを常時モニター、調整し、音量レベル差を一定の範囲に抑えて視聴できます。音量レベル差は以下のようなケースで起こります。

- CDを聴いているときとラジオを聴いているときの音量レベル差
- DVDなどで映画を見ているときの爆発シーンなど大きな音量のシーンと、静かなシーンとの音量レベル差

Volume SmootherをONにすると、上記のケースでも音量操作をすることなく、各ソースを聴こえやすい音量レベルで視聴できます。
Volume Smootherのレベルを調整することで、「音量補正」の効果を変えられます。「Low」→「Mid」→「High」の順で、音量補正の効果が高くなります。

1 MENU ▶ 設定 ▶ (音声アイコン)

2 [Volume Smoother] の設定キー

3 OFF 、Low 、Mid 、
または High

4 閉じる
Volume Smootherのレベルが調整されます。

MEMO

- DVDなどの音量レベル差が大きいソースを視聴するときは、「Mid」または「High」に設定することをおすすめします。
- Volume Smootherは、映像ソースとその他のソースで、それぞれ設定できます。ソースを切り替えると、Volume Smootherもそれぞれの設定値に切り替わります。

画面の設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ (画面アイコン)

2 各キーで画質を設定

昼/夜切り替え：
昼画面と夜画面を切り替える。
昼間にヘッドライトを点灯させていて、画面が見づらい場合などは、手動で昼画面に切り替えると画面が見やすくなります。
自動 を選択した場合は、スモールランプを点灯させると、自動的に夜画面に切り替わります。

MEMO

- エンジンスイッチをOFFにして、再度ONにすると、自動 に設定されます。

明るさ：
＋ または － で画質を調整する。
画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。
スマートフォン連携時は、スマートフォンアプリケーション画面の画質を調整できます。

その他の設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ (工具アイコン)

車載機と連携する機器：
スマートフォン連携を行う場合に、接続するスマートフォンを設定する。（初期値：iPhone）

自車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します。（距離係数／学習機能）そのため、ある程度の走行データが必要です。
走行状態やGPS衛星の状態により、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、故障ではありません。
そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

自車位置のずれを修正するには

はじめて使用するときは、走行データが少ないために誤差を生じます。
GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しの良い道（国道、主要地方道路、主要一般道路）をしばらく走行すると、自車位置マークが地図上を正確に進むようになります。次の方法により短時間での学習が可能です。

GPSが受信できる、下記のような道で、数分から数十分間、法定内のスピードで定速走行を行う。

- **上空に障害物がない道**
- **周辺に高いビルがない道**

自車位置の精度について

- GPS情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなることがあります。
  その他にもGPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

以下のような走行環境やGPS衛星の状態により、自車位置を正しく表示しない場合があります。

- Y字路のように徐々に開いていく道路を走行している。
- ループ橋など、連続して大きく旋回する道路を走行している。
- 直線および緩やかなカーブを長距離走行している。
- 峠道など、つづら折れの道路を走行している。
- 碁盤目状道路を走行している。
- 高速道と側道のように、近接した似た方位の道路を走行している。
- 駐車場や新設道路など地図上にない道路や、実際の道路形状と異なる道路を走行している。
- エンジンを切った状態でターンテーブルで旋回したり、フェリー・車両運搬車などでの移動後。
- 雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路を走行している。
- 坂道での車庫入れやバンクした道路を走行している。
- タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をした後。
- 長時間連続で走行している。
- ホイールスピンなど乱暴な走行をしている。
- 自車位置の移動時に車両の方位が合っていない。

10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、以下の操作をしてください。

1. **「現在地変更」**
   →「ナビゲーション操作ガイド」P.59
2. **「自車位置のずれを修正するには」**
   → P.40故障かなと思ったら

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

ナビゲーション関連

	症　　状	処　　置
表示関連	GPS受信の表示が出ない。	アンテナケーブルが接続されていない場合は、アンテナケーブルを接続してください。
		障害物などがなくなれば受信できます。
		衛星の配置が悪く、測位できない場合もあります。
		走行することにより表示されるようになります。
	画面が表示されない。	画面消しの状態になっている場合は、ロータリボリュームキーを押すと解除されます。 → P.9
		ヒューズが切れている場合があります。ダイハツ販売会社にご相談ください。
	電源投入後、画面が見づらい。	液晶の特性によるもので、故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください。
	地図スクロールが遅い。目的地までのルート表示が遅い。	動画再生を行っている場合、再生を終了してください。
ルート案内音声関連	ルート誘導の音声が小さい（または大きい）。	音量を調整してください。 →「ナビゲーション操作ガイド」
	ルート案内の音声が、交差点に入ってから聞こえる。（発声タイミングが遅い）	動画再生を行っている場合、再生を終了してください。
操作関連	メニューが操作できない。	安全な場所に停車させ、駐車ブレーキをかけてください。

● ナビゲーション関連

自車位置精度関連	自車位置が正しく表示されない。 GPSマークが表示されない。	自車位置を正しく表示するのに時間がかかる場合があります。 GPS受信可能な状態で見通しの良い道路をしばらく走行すると自車位置が修正されます。
		接続チェックを行って、接続を確認してください。→ P.37
		電装品を本機およびGPSアンテナから十分離してご使用ください。
VICS関連	FM VICSが受信されない。	オート選局の設定を「ON」にしてください。→「ナビゲーション操作ガイド」
		手動で放送局を選んでください。→ P.11

オーディオ関連

	症　　状	処　　置
ラジオ	雑音が多い。	正しい周波数に合わせてください。→ P.11
	自動で選局できない。	手動で放送局を選んでください。→ P.11
CD/DVD/MP3/WMA	ディスクを挿入しても音が出ない、またはディスクがすぐ出てしまう。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
		CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDは使用できない場合があります。お使いのCDをもう一度ご確認ください。
		ディスクをファイナライズしてから使用してください。
		MIX MODE CDをご使用の場合は再生できませんのでディスクを取り出してください。
		8cmディスクをご使用の場合は再生できませんのでディスクを取り出してください。
	イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。	ダイハツ販売会社にご相談ください。
	DVD-VRで記録した静止画の切り替えに時間がかかる。	DVD-VRで記録した静止画の切り替えには時間がかかります。
	音が飛ぶ。 ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをやわらかい布で拭いてください。
		ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が悪い。	内部のレンズに水滴が付いている可能性があります。電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	ディスクが挿入できない。	ほかのディスクがすでにセットされていないか確認してください。→ P.7
	MP3/WMAの音切れがする／音が飛ぶ。	エンコードソフトを変えて録音してみてください。
	MP3/WMAの音が悪い。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。→ P.47
	MP3/WMAの音が飛ぶ。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	音楽データ以外のデータ部分を消去してファイルを作ってください。8階層以上の深いフォルダに曲が収録されている場合、またはフォルダが最大255（ルート含む）、ファイルが最大512（1フォルダは最大255ファイルまで）を超えた場合には再生できません。
	正しく表示されない。	ISO9660-LV1、またはLV2に書き込み設定を変えて書き込みを行ってください。
	CD Extraに記録したMP3/WMAが再生できない。	CD Extraの第1セッションにMP3/WMAファイルが書き込まれたCDを再生してください。
	「Disc read error.」の画面が表示される。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。

● オーディオ関連

分類	症状	処置
iPod	リストが表示されない。	リスト表示件数には上限があるため、リストが表示されない場合があります。故障ではありません。
	iPodの操作ができない。	USB接続を解除し、iPod本体を再生状態にし、再度接続を行ってください。
		USB接続を解除し、iPod本体のリセットを行ったのち、再度接続を行ってください。
	iPodの音声が出力しない。	iPod本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetooth（CAR-BT）からDockコネクタへ切り替えてください。または、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
micro SDカード/USBメモリー	microSDカードから再生できない。	本機で使えるmicroSDカードを確認してください。→ **P.46**
	microSDカードが挿入できない。	microSDカードのラベル面を上にして挿入してください。
	USBメモリーから再生できない。	一度USBメモリーを取り外して再度挿入してください。本機で使えるUSBメモリーを確認してください。→ **P.46**
	音が飛ぶ。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	音が悪い。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。本機で再生可能な音声ファイルを確認してください。→ **P.47**
	再生できないファイルやフォルダがある。	8階層以上の深いフォルダに曲が収録されている場合、またはフォルダが最大512（ルートを含む）、ファイルが最大8000（1フォルダには最大255ファイルまで）を超えた場合には再生できません。パソコンを使用し、制限内に収まるよう再構成してください。 また、フォルダ名やファイル名の先頭が「.（ドット）」の場合も再生できません。
	MP3/WMAファイルの数が違う。	MP3/WMA以外のファイルを消去してください。
	音声再生は継続しているが、再生時間が停止している。	ファイルサイズが1GBを超えているファイルを再生中の場合、再生時間が停止することがあります。故障ではありません。
ワンセグテレビ	放送局名が表示されない。	受信できる放送局の設定をする(オートストア)か、優先エリアの切り替えをしてください。→ **P.10**
		放送局の情報は放送電波より取得するものがあります。電波環境の良いところに移動してください。
	映りが悪い。	アンテナが正しく立っているかを確認してください。
Bluetoothオーディオ	接続できない。	Bluetooth対応機器を正しく接続してください。→ **P.26**
		オーディオ機器の電源を入れてください。
		Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置いてください。

● オーディオ関連

Bluetoothオーディオ	再生されない。	AVRCP対応のオーディオ機器をご利用ください。
		接続を解除し、再度接続してください。
		接続オーディオ機器のプレーヤーを起動してください。
	トラック名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。	AVRCP Ver.1.3に対応しているオーディオ機器をご使用ください。Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーを起動し直してください。
	接続オーディオ機器から音が出なくなった。	携帯機器の設定画面から、再度Bluetoothオーディオ機器を指定してください。

スマートフォン連携

症　　状	処　　置
エラーメッセージが表示されてスマートフォン連携ができない。	スマートフォンのスリープ状態を解除してください。
	あらかじめ、スマートフォンに連携対応アプリケーション、およびアプリケーション管理ソフト「Smart Access」をインストールしてください。
	あらかじめ、スマートフォン側で連携対応アプリケーションを起動してください。
	スマートフォンの電波状況が良好な場所で、再度接続を行ってください。
	いったん接続ケーブルを外し、再度接続を行ってください。
	本機の「車載機と連携する機器」の設定を確認してください。
	Android搭載機の場合、スマートフォン側のHDMI出力設定を有効にしてください。 次に、HDMI出力が本機で表示可能な解像度か確認してください。 また、スマートフォンがBluetoothのSPP、HIDプロファイルに対応していることを確認してください。
本機のスマートフォン連携画面で「！」をタッチしても、アプリケーションの更新ができない。	安全上の理由から、スマートフォン連携中はアプリケーションを更新できません。いったん接続ケーブルを外し、スマートフォン側で更新を行ってください。
スマートフォン連携画面が表示されず、黒い画面、またはエラーメッセージが表示される。	接続ケーブルが正しく接続されているか、確認してください。 Android搭載機の場合は、スマートフォン側のHDMI出力が、本機で表示可能な解像度か確認してください。

● スマートフォン連携	
電話発信後、スマートフォン連携画面でエラー画面が表示される。	スマートフォンのOSのバージョンによっては、電話発信後にスマートフォン連携が解除される場合があります。 スマートフォン側の操作で、Home画面からSmart Accessを起動してください。
アプリケーション使用中、エラーメッセージが表示される。	スマートフォンの電波状況が良好な場所でお使いください。
以前使えたスマートフォン連携が使えなくなった。	スマートフォンの電源が入っているか確認してください。また、スマートフォンのスリープ状態を解除してください。
スマートフォンが動作しないように見える。	いったん接続ケーブルを外し､再度接続を行ってください。もしくは、スマートフォン側の電源をOFF→ONにしてください。
本機の音量を上げても音声が聞こえない。	スマートフォン側の音量がゼロになっている可能性があります。 スマートフォン側で音量を上げてください。

バックカメラ

症　　状	処　　置
カメラ映像が表示されない。	シフトレバーがRの位置になっているか確認してください。
	暗いところ、または明るいところを映していると画面が見にくいことがありますが、故障ではありません。
カメラ映像の映りが悪い。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。
バックカメラのガイドラインが表示されない。	停止した状態で画面をタッチし、ガイドライン表示 をタッチしてください。

その他

症　　状	処　　置
電源投入直後、画面が見づらい。	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください。
画面が表示されない。	画面非表示の状態になっている場合は、ロータリボリュームキーを押すと画面が表示されます。→ P.9
	ヒューズが切れている可能性があります。ダイハツ販売会社にご相談ください。
画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品（携帯電話、無線機、マイナスイオン発生器など）は、本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
本機使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	いったんお車を安全な場所に停車してエンジンスイッチをOFFにし、再度「ACC」、または「ON」にしてください。その後も元に戻らない場合は、液晶バックライトの故障か、本機の誤動作が考えられますので、ダイハツ販売会社にご相談ください。
起動直後に、ボタンが反応しないときがある。	しばらく待ってから操作を行ってください。
走行中に操作できないメニューがある。	安全な場所に車を停車させ、駐車ブレーキをかけてから操作してください。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総　　則

（約款の適用）
第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。
（約款の変更）
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。
（用語の定義）
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（撹乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。
（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス
（VICSサービスの提供時間）
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね１２０時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契　　約

（契約の単位）
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー１台毎に１のVICSサービス契約を締結します。
（サービスの提供区域）
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。
（契約の成立等）
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
（VICSサービスの種類の変更）
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第４条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第12条
1　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料　　金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保　　守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第15条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑　　則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第17条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。
[別表]
視聴料金　315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

本機で使えるディスク

お願い

- 下記のディスクは、ディスクに傷が付いたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。
  - 8cmCD
  - 異形のディスク
  - デュアルディスク（Dual Disc）
  - ラベルを貼り付けたディスク
- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。
- ディスクは、表面に傷や指紋をつけないように扱ってください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクは次のような場所には保管しないでください。
  - 直射日光の当たる場所
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 暖房の熱が直接当たる場所

再生できるCD

●音楽CD
● CD-TEXTディスク
● CD-Extraディスク
　※ ただし音楽CDとして
● Super Audio CD
　※ ハイブリッドディスクのCD層のみ
● パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※1
● 音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク※2
● コピーガード付きCD※3

※ 1 アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。
※ 2 正常に再生できない場合があります。また CD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。
※ 3 再生できない場合があります。

再生できないCD

● MIX MODE CD
● CD-DA以外のディスク（オーバーバーンCDなど）
● DTS CD
● ビデオCD
● ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク

再生できるDVD

● DVD VIDEO のついているディスク
● リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
● DVD-VR

本機では市販のDVDビデオ、ご家庭で映像・静止画を保存されたDVD-VRを再生できます。
DVD-VRを再生する場合は、あらかじめお持ちのレコーダーでディスクをファイナライズしておく必要があります。

再生できないDVD

● リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
● パケットライト方式で記録されたディスク
● ご家庭でハイビジョン録画したディスク
● DVD-RAM

※ ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります

本機で使えるmicroSDカード/USBメモリー

本機では以下に記載された市販のmicroSDカード/USBメモリーを使用してください。

● 記録メディア
　microSDカード※、USBメモリー
　※ High CapacityはClass10まで対応、eXtended Capacityは非対応
● 記録フォーマット
　FAT16、FAT32に対応
● 拡張子が.MP3、または.WMAのファイル（雑音や故障の原因となるため、MP3・WMAファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子を付けないでください）
● ファイルサイズが2GB未満のファイル
　ただし、ファイルサイズが1GBを超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。
● microSDカードをご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。
● microSDカードと互換のない記録メディアには対応していません。

microSDカード取り扱い上のご注意

- microSDカードの出し入れは、microSDカードが破損するおそれがあるため、本機の電源をOFFにしてから行ってください。
- microSDカードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、microSDカードを拭かないでください。
- 書き込み、読み込みなどの使用中はmicroSDカードを本機から抜いたり、エンジンスイッチをOFFにしたりしないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- microSDカードを本機で使用する際は、パソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示もあわせてお読みください。
- microSDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- microSDカードの端子面に、手や金属で触れないでください。
- microSDカードの最適化は行わないでください。
- microSDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。

本機で再生可能な音声ファイルについて

本機では、MP3、またはWMAファイルの記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、microSDカード、USBメモリーを再生できます。

MP3とは、MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3ファイルは、元の音楽データを約1/10サイズに圧縮したものです。

WMAとは、Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。

再生できるMP3・WMAディスク、およびファイルは以下のとおりです。

- 記録メディア※1：
  CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW
- 記録フォーマット：
  CD：ISO9660レベル1／レベル2、Joliet、Romeo
  DVD：UDF（Ver1.02/1.5/2.0）、UDF-ブリッジ
- パケットライトには非対応
- 拡張子が.MP3、または.WMAのファイル（雑音や故障の原因となるため、MP3・WMAファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子をつけないでください）

※1 マルチセッション対応で記録したディスクは、最大40セッションまで再生可能です。（DVD-R/RW、DVD+R/RWはマルチセッション非対応）

MEMO

- MP3・WMAのVBRファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。

MP3ファイルについて

- ID3-Tag：Ver1.x、2.xのalbum（Disc Titleとして表示）、track（Track Titleとして表示）、artist（Track Artistとして表示）の表示に対応
- エンファシス：44.1kHzのファイル再生時のみ対応
- 再生可能なサンプリング周波数
  MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz
  MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz
  MPEG2.5：11.025kHz/12kHz/8kHz
  ※音質面においては44.1kHz以上を推奨
- 再生可能なビットレート
  MPEG1：32kbps ～ 320kbps/VBR
  MPEG2：8kbps ～ 160kbps/VBR
  MPEG2.5：8kbps ～ 160kbps/VBR
  ※音質面においては128kbps以上を推奨
- 以下のサンプリング周波数、ビットレートで記録されたファイルは音切れが発生することがあります。
  サンプリング周波数：16kHz以下
  ビットレート：8kbps以下
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応
- MP3ファイルのデータ内容によっては、音飛びすることがあります。
- 記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。
- ディスク/microSDカード/USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できないことがあります。
- 低ビットレートのファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。
- Windows Media Player、iTunes®以外のTAG編集ソフトでTAG情報を変更すると、TAGが正常に表示されないことがあります。

WMAファイルについて

- 作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
- WMA9 Professional、WMA9 Voice、WMA9ロスレスフォーマット非対応
- ディスク/microSDカード/USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- WMAファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数・ビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご覧ください。

ビットレート(kbps)	ディスク	SDカード/USBメモリー
	サンプリング周波数(kHz)	
320	44.1	―
256	44.1	―
192	48/44.1	44.1
160	48/44.1	44.1
128	48/44.1	44.1
96	48/44.1	44.1
80	44.1	44.1
64	48/44.1	44.1/32
48	44.1/32	44.1/32
44	―	32

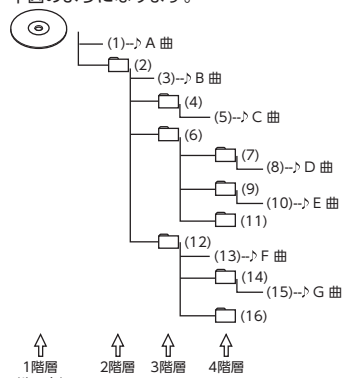
ビットレート(kbps)	ディスク	SDカード/USBメモリー
	サンプリング周波数(kHz)	
40	32	32
36	ー	32
32	44.1/32/22.05	48/44.1/32/22.05
22	22.05	32/22.05
20	44.1/32/22.05/16	44.1/32/22.05/16
16	22.05/16	22.05/16
12	16/8	16/8
10	16/11.025	16/11.025
8	11.025/8	11.025※/8※
6	8	8※
5	8	8※
VBR	44.1	48/44.1

※ 音切れが発生する場合があります。

ディスクのフォルダ構成

ディスク内の最大フォルダ・ファイル・トラック数は、以下のとおりです。

フォルダ：255（ルートを含む）
ファイル：512
トラック：1フォルダあたり255

MP3・WMAファイルを記録したディスクのイメージ（例：1 ～ 4階層の場合）は、下図のようになります。

曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。

下図の場合の再生順序は、(1) → (3) → (5) → (8) → (10) → (13) → (15) となります。

お知らせ

- ディスクの場合、8階層（ルートディレクトリを含む）までのファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。

microSDカード/USBメモリーのフォルダ構成

音楽データを認識できる階層は、microSDカード、USBメモリーともにルートを除く8階層までです。この階層内にあるMP3・WMA音楽データのみが認識されます。何階層目にデータを置かねばならないという指定はありません。

フォルダ名、ファイル名の文字数合計は全角・半角ともに250文字以内にしてください。

MEMO

- MP3・WMAファイルを含まないフォルダは認識されません。
- microSDカード、USBメモリーは、8階層（ルートディレクトリを除く）までのファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。
- 1つのフォルダに255以上のトラックが入っている場合はパソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるトラックは変わります。
- 1つのフォルダにMP3・WMAファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるトラック数が少なくなることがあります。
- 認識可能な最大フォルダ・ファイル・トラック数は以下のとおりです。

  フォルダ：512
  ファイル：8000
  トラック：1フォルダあたり255
- 第1階層にファイルがある場合は、フォルダリスト画面の「MASTER FOLDER」内に置かれます。

本機でMP3・WMAを再生するためのご注意

- 最大数を超えてフォルダ・ファイル・トラックが記録されている場合、超過しているフォルダ・ファイル・トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合、フォルダ名やファイル名の先頭が「.（ドット）」の場合は、そのファイルは再生できません。
- MP3・WMAのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WMなど）が残る場合があります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）
- microSDカード、USBメモリーともに、著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

カントリーコード

国名	国コード	入力番号
ALBANIA	AL	6576
ANDORRA	AD	6568
AUSTRIA	AT	6584
BAHRAIN	BH	6672
BELGIUM	BE	6669
BOSNIA AND HERZEGOWINA	BA	6665
BULGARIA	BG	6671
CROATIA (local name:Hrvatska)	HR	7282
CYPRUS	CY	6789
CZECH REPUBLIC	CZ	6790
DENMARK	DK	6875
EGYPT	EG	6971
FINLAND	FI	7073
FRANCE	FR	7082
FRANCE, METROPOLITAN	FX	7088
GERMANY	DE	6869
GREECE	GR	7182
HUNGARY	HU	7285
ICELAND	IS	7383
IRAN (ISLAMIC REPUBLIC)	IR	7382
IRAQ	IQ	7381
IRELAND	IE	7369
ISRAEL	IL	7376
ITALY	IT	7384

国名	国コード	入力番号
JAPAN	JP	7480
JORDAN	JO	7479
KUWAIT	KW	7587
LEBANON	LB	7666
LESOTHO	LS	7683
LIECHTENSTEIN	LI	7673
LUXEMBURG	LU	7685
MACEDONIA, THE FORMER YUGOSLAV REPUBLIC OF	MK	7775
MALTA	MT	7784
MONACO	MC	7767
NETHERLANDS	NL	7876
(NETHERLANDS ANTILLES)	AN	6578
NORWAY	NO	7879
OMAN	OM	7977
POLAND	PL	8076
PORTUGAL	PT	8084
QATAR	QA	8165
ROMANIA	RO	8279
SAN MARINO	SM	8377
SAUDI ARABIA	SA	8365
SLOVAKIA (Slovak Republic)	SK	8375
SLOVENIA	SI	8373
SOUTH AFRICA	ZA	9065
SPAIN	ES	6983
SWAZILAND	SZ	8390
SWEDEN	SE	8369

国名	国コード	入力番号
SWITZERLAND	CH	6772
SYRIAN ARAB REPUBLIC	SY	8389
TURKEY	TR	8482
UNITED ARAB EMIRATES	AE	6569
UNITED KINGDOM	GB	7166
Vatican City State	VA	8665
YEMEN	YE	8969
YOUGOSLAVIA	YU	8985
FAROE ISLANDS	FO	7079
GIBRALTAR	GI	7173
GREENLAND	GL	7176
SVALBARD AND JAN MAYEN ISLANDS	SJ	8374

お手入れ

本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

- 本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽く拭いてください。
  汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量つけて軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。
  ※ 本体のお手入れをする際、ベンジンやシンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどは絶対に使用しないでください。火災の原因になる可能性があります。
- 液晶表示部は、ホコリが付きやすいので、ときどきやわらかい布で拭いてください。

仕様

ナビゲーション（GPS）部

受信周波数　：1575.42MHz C/Aコード
感度　：-130dBm以下
チャンネル数　：パラレル13チャンネル

LCD モニター部

画面寸法　：6.2型
表示方式　：透過型TN液晶パネル
駆動方式　：TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス駆動方式
画素数　：1,152,000画素［水平800×垂直480×3 (RGB)］

ワンセグチューナー部

受信チャンネル：UHF 13～62ch
最大感度　：－80dBm以下

CDプレーヤー部

周波数特性　：20Hz～20kHz
SN比　：70dB
高調波ひずみ率　：0.3%（1kHz）

DVDプレーヤー部

周波数特性　：20Hz～20kHz
SN比　：70dB
高調波ひずみ率　：0.3%（1kHz）

FMチューナー部

受信周波数　：76.0MHz～90.0MHz
実用感度　：20dBμV

AMチューナー部

受信周波数　：522kHz～1,629kHz
実用感度　：40dBμV

オーディオ部

定格出力　：18W×4（10%、4Ω）
瞬間最大出力　：47W×4
適合インピーダンス：4Ω

Bluetooth部

受信周波数　：2402MHz～2480MHz（1MHzステップ）
受信感度　：-70dBm以下
規格　：バージョン2.1+EDR

共通部

電源電圧　：14.4V（10.8 ～ 15.6V許容電圧範囲）
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：約4A（1W出力時）

商標について

- 本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、ロヴィ コーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DVD VIDEO はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- microSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
  iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and iTunes are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であり、クラリオン（株）は許可を受けて使用しています。
- 「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。
- HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interfaceという用語、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国その他の国々における商標または登録商標です。

- Android は、Google Inc.の商標です。
- オープンソースを適用したソースコードの入手方法について
  本機ではオープンソースを適用したソフトウエアを使用しています。
  このソフトウエアのソースコードの入手をご希望されるお客さまには、クラリオン株式会社のホームページよりダウンロードによる方法にて提供しております。
  入手方法については、以下のサイトをご参照ください。
  http://www.clarion.com/jp/ja/support/message/genuine/index.html

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

本機内のデータ消去について

本機を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

お客様のプライバシー保護のために…

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータを、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。

著作権保護のために…

メモリー内に保存されたデータを、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡（有償および無償）・転売されますと、著作権法に抵触するおそれがあります。

※ 弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを消去（初期化）する

本機に保存されたデータをすべて消去（初期化）します。

1. MENU ▶ 設定 ▶ ⚙
2. **[出荷状態に戻す]の** リストア
   確認画面が表示されます。
3. OK
   本機に保存された全データが消去されます。

MEMO

- 更新を行った場合のプログラムバージョンは初期化されず、更新後のデータが保持されます。

Bluetoothの接続方法と機能対応表

Bluetooth対応機器を本機に登録（ペアリング）する際、設定する接続方法により、使用できる機能が異なります。詳しくは、以下の表をご覧ください。

■ iPhoneの場合

用途の設定画面→ P.26	NaviCon	ハンズフリー機能	Bluetoothオーディオ
ハンズフリー通話＋スマートフォン連携※1	○	○	×
ハンズフリー通話＋音楽再生	×※2	○	○
ハンズフリー通話のみ	×※2	○	×
音楽再生のみ	×※2	×	○
スマートフォン連携のみ※1	○	×	×

※ 1「車載機と連携する機器」を「iPhone」に設定する必要があります。→ P.39
※ 2 USB接続時は機能を使用できます。

● Smart Access使用時のBluetooth接続方法について

- iPhone 4/iPhone 4Sの場合
  Bluetoothの設定は必要ありません。
- iPhone 5の場合
  Bluetoothの接続方法を「ハンズフリー通話＋スマートフォン連携」または「スマートフォン連携のみ」から選択してください。

お知らせ

- 上記の接続方法を選択した場合は、Bluetoothオーディオ機能は使用できません。

■ Androidの場合

用途の設定画面→ P.26	NaviCon	ハンズフリー機能	Bluetoothオーディオ
ハンズフリー通話＋スマートフォン連携※1	○※2,※3	○	×
ハンズフリー通話＋音楽再生	×	○	○
ハンズフリー通話のみ	×	○	×
音楽再生のみ	×	×	○
スマートフォン連携のみ※1	○※2,※3	×	×

※ 1「車載機と連携する機器」を「Android」に設定する必要があります。→ P.39
※ 2 Smart AccessとNaviConは同時に使用できません。
※ 3 NaviConを利用する場合は、ナビゲーションのメインメニューで NaviCon開始 をタッチしてください。

● Smart Access使用時のBluetooth接続方法について
Bluetoothの接続方法を「ハンズフリー通話＋スマートフォン連携」または「スマートフォン連携のみ」から選択してください。

お知らせ

- 上記の接続方法を選択した場合は、Bluetoothオーディオ機能は使用できません。

索引

キ　リ　ト　リ　線

スマートフォン連携メモリーナビゲーションシステム シリアルNo. ラベル保管シート

キ　リ　ト　リ　線

裏面にラベルを貼り、「車名」「車台番号」
を記入してシートを切り取ってください。
シートは紛失しないようご自宅で大切に
保管してください。

スマートフォン連携メモリーナビゲーションシステム シリアルNo. ラベル保管シート

キ　リ　ト　リ　線

スマートフォン連携メモリーナビゲーションシステム シリアル No. ラベル保管シート

スマートフォン連携メモリーナビゲーションシステム本体のモニターに、シリアルNo.ラベルが添付されているときは・・・・

① 下のシートにシリアルNo.ラベルを貼り付けてください。
② Memo欄に「車名」と「車台番号」を記入してください。
③ シートを切り取って、紛失しないようご自宅で大切に保管してください。

キ　リ　ト　リ　線

ー スマートフォン連携メモリーナビゲーションシステム ー
シリアルNo.ラベル保管シート

シリアル No. ラベル

ここに貼ってください

Memo

車名：
車台番号：

シリアルNo.ラベルは、お客さまのスマートフォン連携メモリーナビゲーションシステムであることを速やかに判別するためのものです。
（スマートフォン連携メモリーナビゲーションシステム本体と同じ製造番号が記載されています。）

ご相談、ご意見はご購入いただいた販売会社にお問い合わせください。

お問い合わせ先は別冊「メンテナンス ノート」の「ダイハツ サービス網」をご覧ください。

お問い合わせには、あらかじめ下記の事項について確認のうえ、ご連絡願います。

⑴ 車名および型式、登録番号
⑵ ご購入年月日
⑶ 走行距離
⑷ お客様のご住所、お名前、電話番号

ダイハツ工業株式会社　お客様相談室

フリー コール　0800-500-0182
受付時間　平日　9：00～19：00
　　　　　土日祝　9：00～17：00
〒563-8651　大阪府池田市ダイハツ町１番１号

弊社におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、ダイハツ工業株式会社ホームページにて掲載しております。（http://www.daihatsu.co.jp/privacy/index.htm）

●印刷＝ 2013 年 12 月 2 日　●発行＝ 2013 年 12 月 9 日<非売品>
●編集＝ダイハツ工業株式会社　サービス部
●発行＝ダイハツ工業株式会社

131209-1